

第2章 アンケート調査の結果

I 在宅の方（18歳以上）を対象とした調査

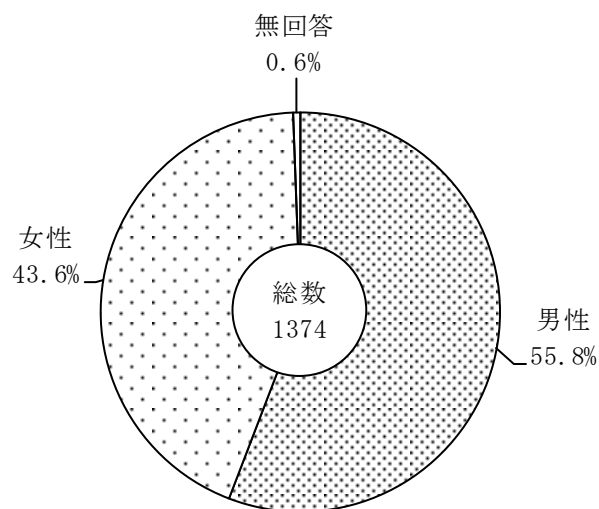
1 ご本人について

(1) 性別

問1 あなたの性別をお聞きます。(あてはまるものひとつに○)

「男性」が 55.8%、「女性」が 43.6%となっています。

問1 性別



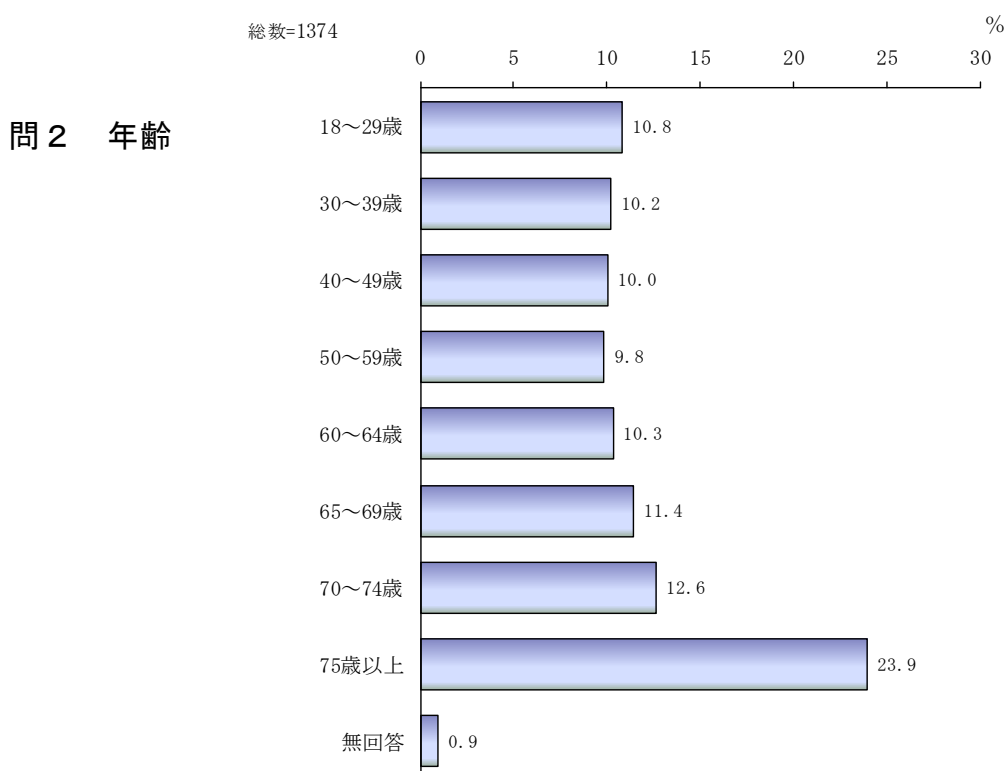
		全体	男性	女性	無回答
全体		1374 100.0	767 55.8	599 43.6	8 0.6
障害の種類	身体障害	930 100.0	509 54.7	419 45.1	2 0.2
	知的障害	259 100.0	162 62.5	97 37.5	— —
	精神障害	274 100.0	149 54.4	124 45.3	1 0.4
	無回答	29 100.0	11 37.9	12 41.4	6 20.7

(2) 年齢

問2 あなたの年齢をお聞きます。平成22年1月1日現在の年齢をご記入ください。

全体では、「75歳以上」が23.9%、「70～74歳」が12.6%、「65～69歳」が11.4%となっています。

障害種別ごとに見ると、身体障害のある方では高齢の方が多く、平均年齢は67.1歳となっています。知的障害のある方では40歳未満の方が多く、平均年齢は34.6歳でした。精神障害のある方の平均年齢は46.9歳となっています。

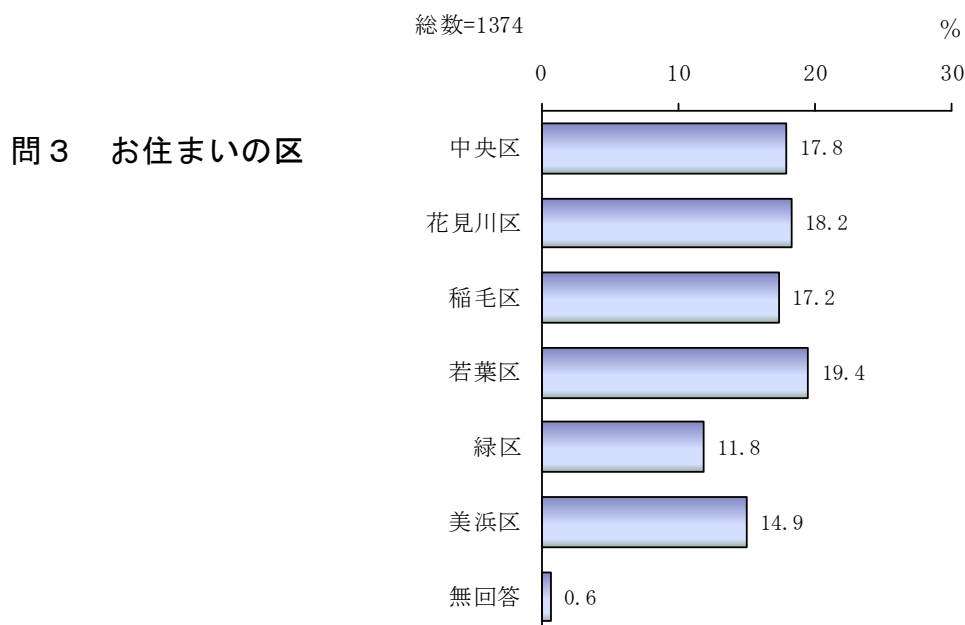


	全体	18 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 64 歳	65 ～ 69 歳	70 ～ 74 歳	75 歳 以上	無 回 答	平 均
全体	1374 100.0	149 10.8	140 10.2	137 10.0	135 9.8	142 10.3	157 11.4	173 12.6	329 23.9	12 0.9	58.8
障害 の 種 別											
身体障害	930 100.0	33 3.5	37 4.0	47 5.1	81 8.7	99 10.6	145 15.6	167 18.0	317 34.1	4 0.4	67.1
知的障害	259 100.0	115 44.4	58 22.4	46 17.8	24 9.3	5 1.9	2 0.8	4 1.5	4 1.5	1 0.4	34.6
精神障害	274 100.0	29 10.6	70 25.5	56 20.4	47 17.2	47 17.2	13 4.7	8 2.9	3 1.1	1 0.4	46.9
無回答	29 100.0	3 10.3	2 6.9	5 17.2	-	1 3.4	2 6.9	2 6.9	8 27.6	6 20.7	58.5

(3) お住まいの区

問3 あなたがお住まいの区をお聞きます。(あてはまるものひとつに○)

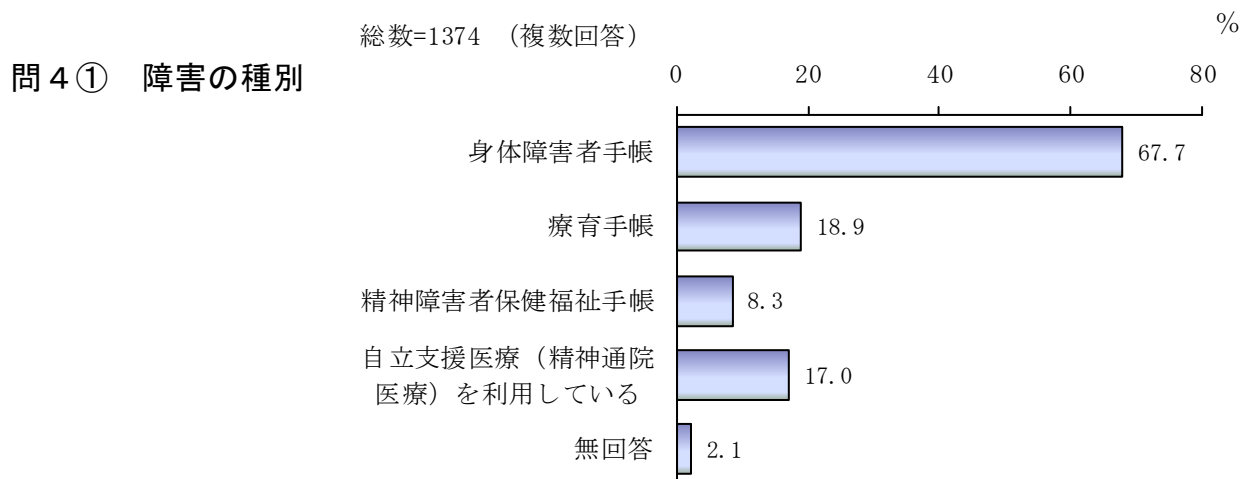
「中央区」が 17.8%、「花見川区」が 18.2%、「稲毛区」が 17.2%、「若葉区」が 19.4%、「緑区」が 11.8%、「美浜区」が 14.9%となっています。



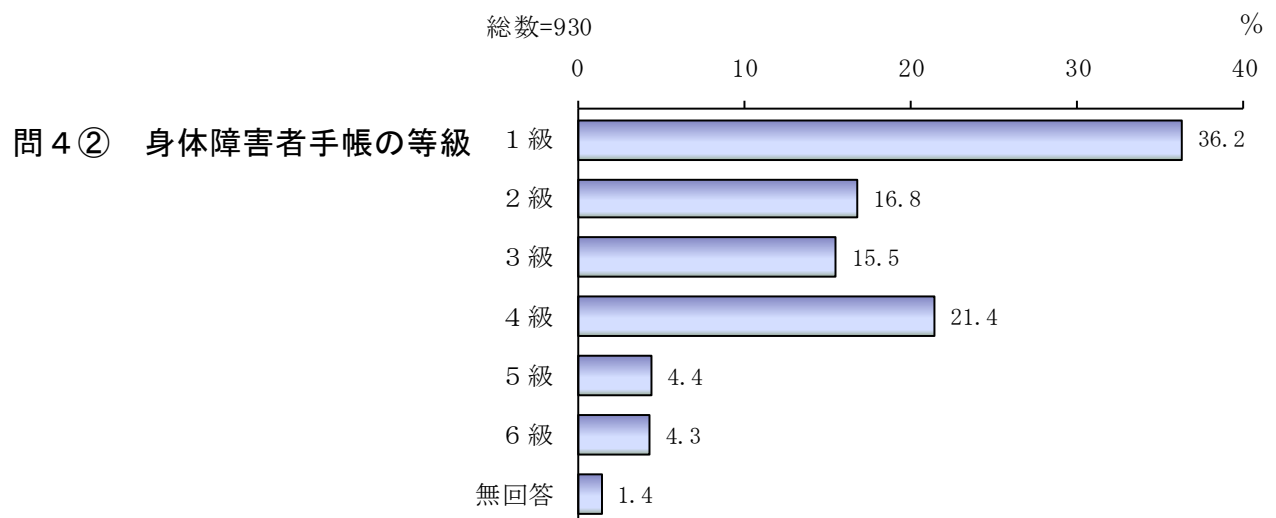
(4) 障害の種別

問4 あなたの持っている手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用の有無をお聞きます。あてはまる番号に○印をつけ、手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級（程度）にも○印をつけてください。

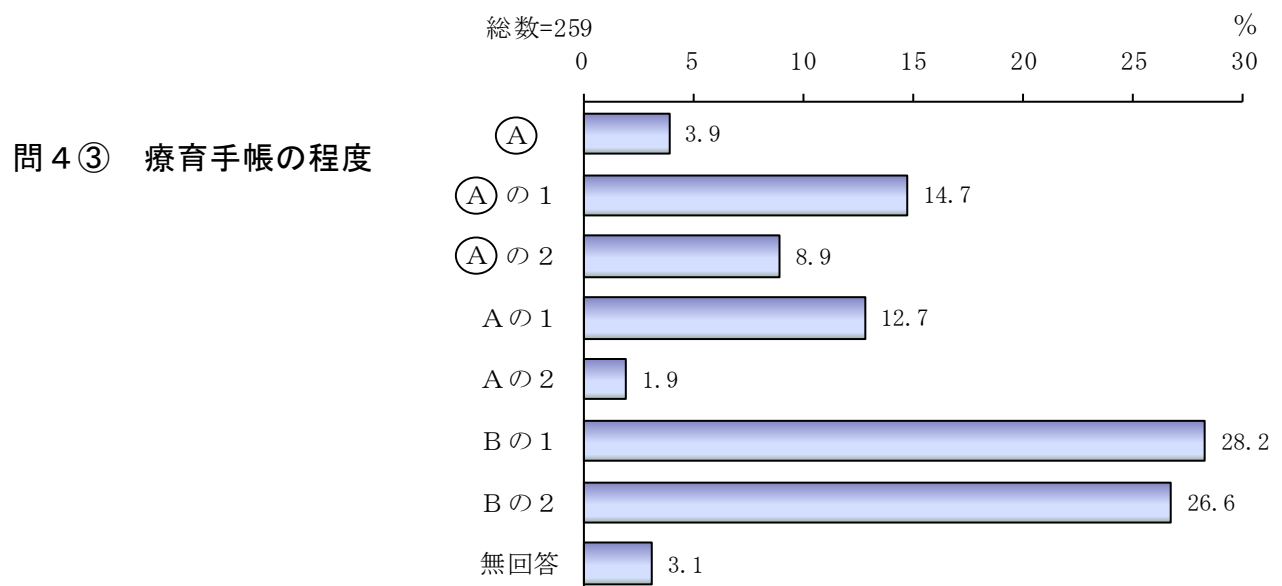
「身体障害者手帳」が 67.7%、「療育手帳」が 18.9%、「精神障害者保健福祉手帳」が 8.3%となっています。「自立支援医療（精神通院医療）を利用している」は 17.0%でした。



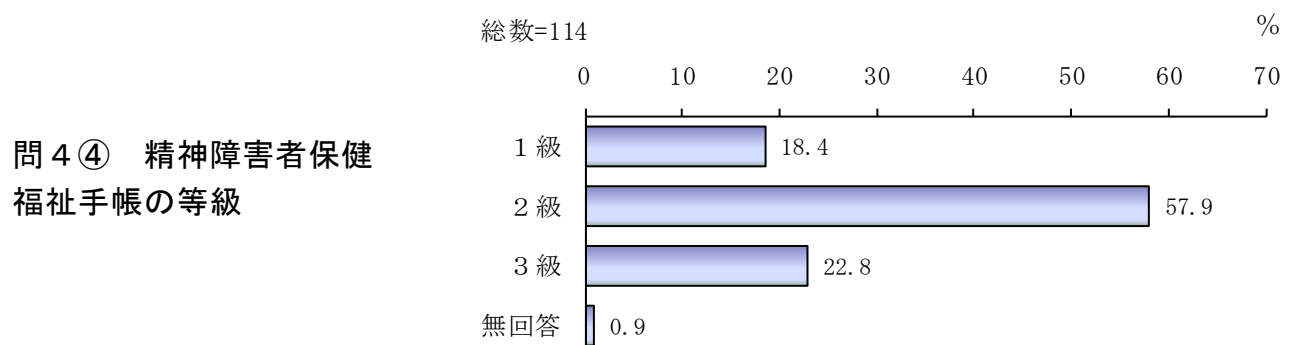
身体障害者手帳の等級では、「1 級」が 36.2%、「4 級」が 21.4%となっています。



療育手帳の程度では、「B の 1 」が 28.2%、「B の 2 」が 26.6%となっています。「㉠」は 3.9%、「㉠ の 1 」は 14.7%、「㉠ の 2 」は 8.9%でした。



精神障害者保健福祉手帳の等級では、「2 級」が 57.9%、「3 級」が 22.8%、「1 級」が 18.4%となっています。

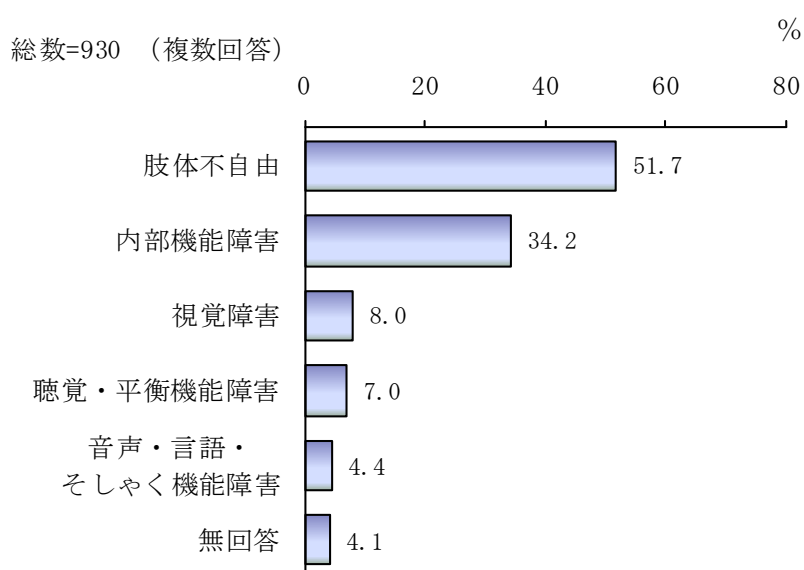


（５）身体障害の部位

問５ 身体障害者手帳をお持ちの方にお聞きします。 障害の種類は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「肢体不自由」が 51.7%、「内部機能障害」が 34.2%、「視覚障害」が 8.0%、「聴覚・平衡機能障害」が 7.0%、「音声・言語・そしゃく機能障害」が 4.4%となっています。

問５ 身体障害の部位



(6) 医療機関の受診状況

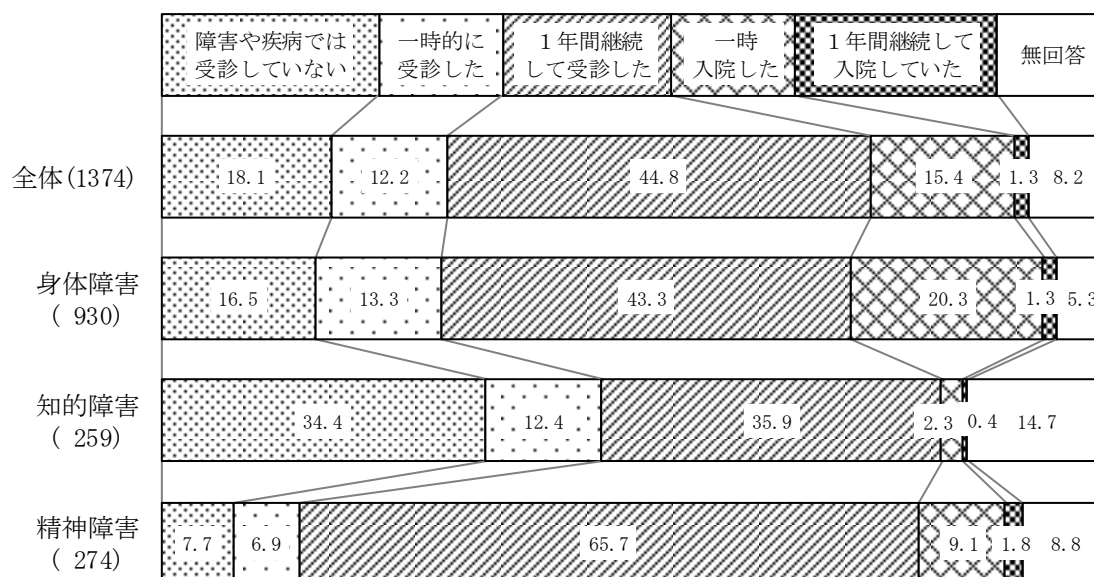
問6 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。(あてはまるものひとつに○)

全体では、「1年間継続して受診したが、入院はしていない」が44.8%、「障害や疾病では受診していない」が18.1%、「一時入院した(入院期間以外に通院した場合も含む)」が15.4%となっています。

障害種別ごとに見ると、精神障害のある方では、「1年間継続して受診したが、入院はしていない」が多くなっています。

問6 医療機関の受診状況

単位:%



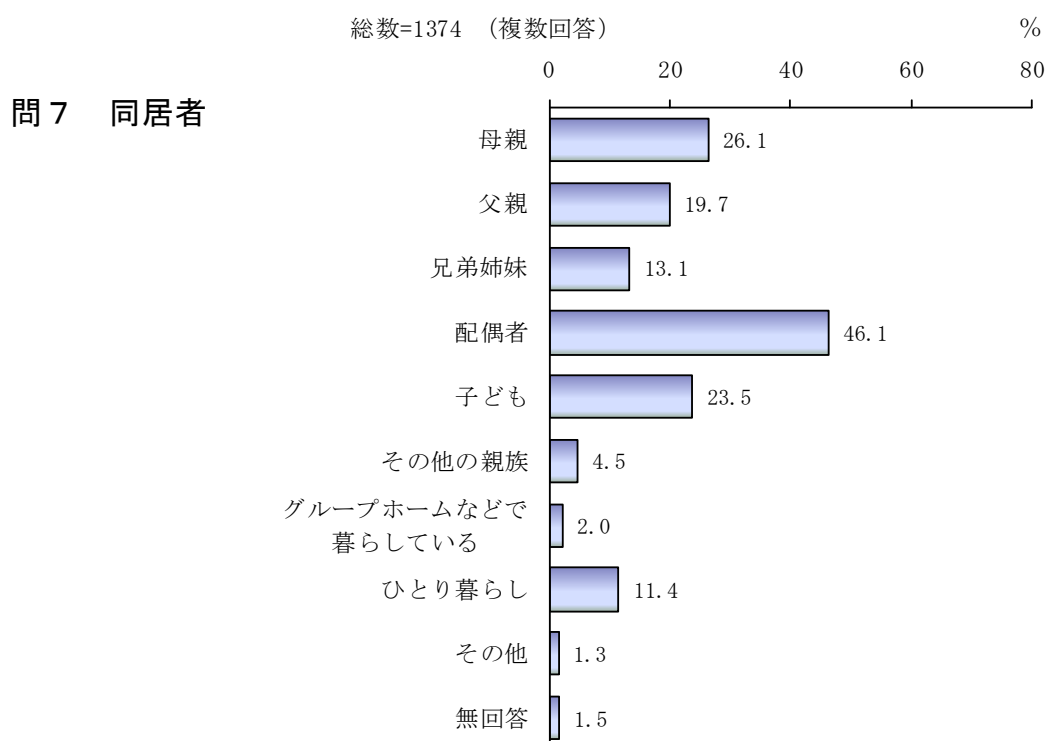
2 ご家族や介助者について

(1) 同居者

問7 あなたはどなたと一緒に暮らしていますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「配偶者」が46.1%、「母親」が26.1%、「子ども」が23.5%となっています。

障害種別ごとに見ると、身体障害のある方では、「配偶者」が多く、知的障害や精神障害のある方では、「母親」が多くなっています。



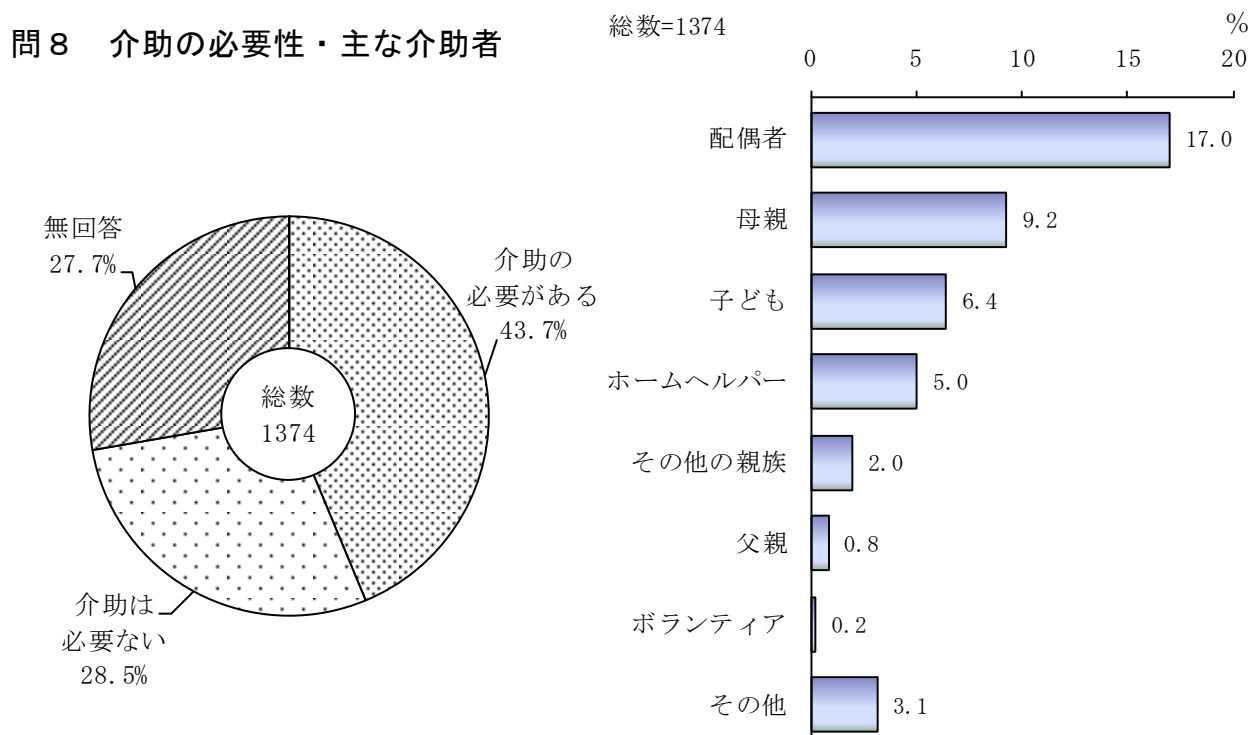
		全 体	母 親	父 親	兄 弟 姉 妹	配 偶 者	子 ど も	そ の 他 の 親 族	な ど で 暮 ら し て い る グ ル ー プ ホ ー ム	ひ と り 暮 ら し	そ の 他	無 回 答
全体		1374 100.0	359 26.1	271 19.7	180 13.1	633 46.1	323 23.5	62 4.5	27 2.0	156 11.4	18 1.3	20 1.5
障 害 の 種 類	身体障害	930 100.0	106 11.4	73 7.8	54 5.8	539 58.0	266 28.6	34 3.7	16 1.7	123 13.2	14 1.5	11 1.2
	知的障害	259 100.0	196 75.7	164 63.3	106 40.9	9 3.5	5 1.9	19 7.3	13 5.0	9 3.5	4 1.5	1 0.4
	精神障害	274 100.0	110 40.1	81 29.6	49 17.9	96 35.0	59 21.5	14 5.1	3 1.1	31 11.3	5 1.8	3 1.1
	無回答	29 100.0	9 31.0	7 24.1	4 13.8	3 10.3	4 13.8	－ －	－ －	3 10.3	1 3.4	8 27.6

（２） 介助の必要性・主な介助者

問８ あなたは普段の生活で介助を必要としていますか。 介助が必要な方は、主な介助者の方をお答えください。（あてはまるものひとつに○）

全体では、「介助の必要がある」が 43.7%、「介助は必要ない」が 28.5%となっています。主な介助者を見ると、「配偶者」が 17.0%、「母親」が 9.2%、「子ども」が 6.4%となっています。

障害種別ごとに見ると、主な介助者は、身体障害のある方では「配偶者」が、知的障害のある方では「母親」が多くなっています。



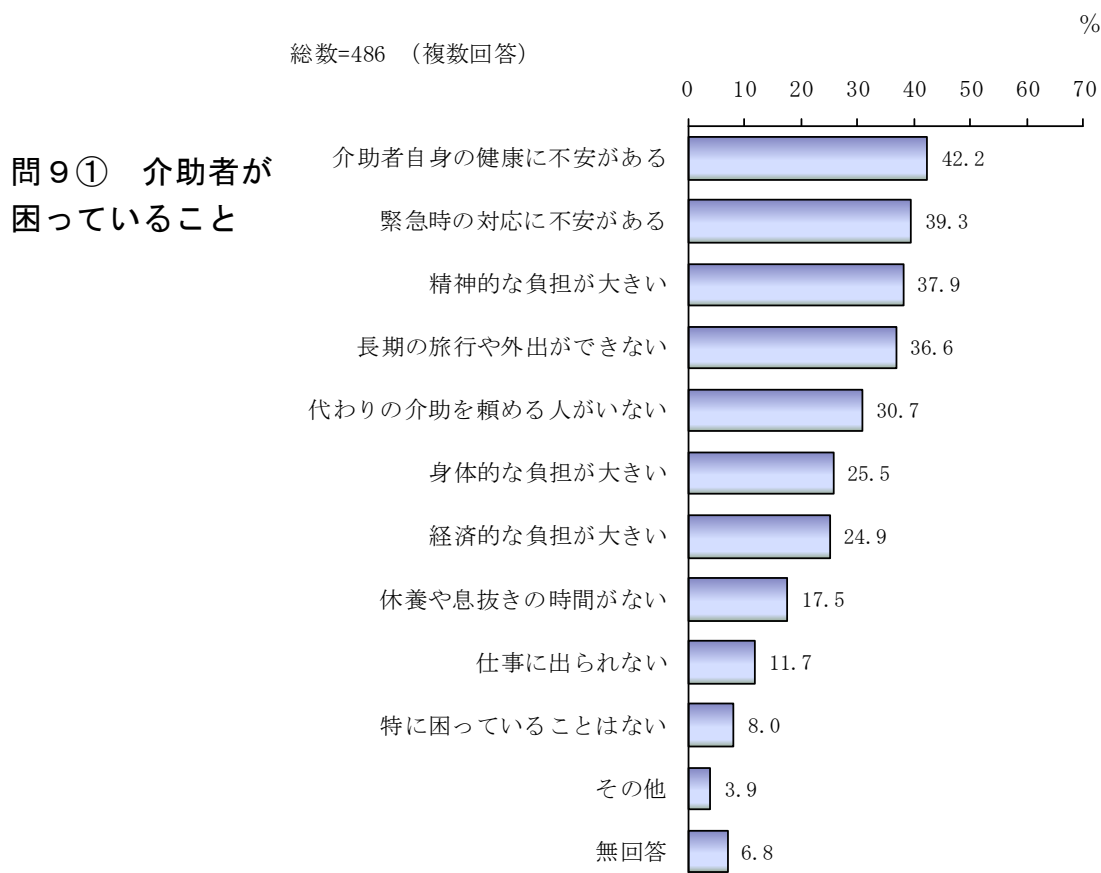
		全体	母親	父親	配偶者	子ども	その他の親族	ホームヘルパー	ボランティア	介助は必要ない	その他	無回答
全体		1374	127	11	233	88	27	69	3	392	43	381
		100.0	9.2	0.8	17.0	6.4	2.0	5.0	0.2	28.5	3.1	27.7
障害の種類	身体障害	930	38	5	212	81	15	65	2	248	30	234
		100.0	4.1	0.5	22.8	8.7	1.6	7.0	0.2	26.7	3.2	25.2
	知的障害	259	90	7	4	2	8	2	-	49	11	86
		100.0	34.7	2.7	1.5	0.8	3.1	0.8	-	18.9	4.2	33.2
	精神障害	274	33	3	27	4	5	7	1	103	7	84
		100.0	12.0	1.1	9.9	1.5	1.8	2.6	0.4	37.6	2.6	30.7
無回答		29	1	-	1	3	1	-	-	7	1	15
		100.0	3.4	-	3.4	10.3	3.4	-	-	24.1	3.4	51.7

(3) 介助者が困っていること

問9 家族・親族の方が介助している方にお聞きします。主な介助者の方が困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「介助者自身の健康に不安がある」が42.2%、「緊急時の対応に不安がある」が39.3%、「精神的な負担が大きい」が37.9%、「長期の旅行や外出ができない」が36.6%となっています。

障害種別ごとに見ると、知的障害のある方では、「緊急時の対応に不安がある」が、精神障害のある方では、「精神的な負担が大きい」が多くなっています。



		全体	介助者自身の健康に不安がある	代わりの介助を頼める人がいない	緊急時の対応に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	仕事に出られない	長期の旅行や外出ができない	休養や息抜きの時間がない	特に困っていることはない	その他	無回答
全体		486 100.0	205 42.2	149 30.7	191 39.3	124 25.5	184 37.9	121 24.9	57 11.7	178 36.6	85 17.5	39 8.0	19 3.9	33 6.8
障害の種類	身体障害	351 100.0	148 42.2	103 29.3	130 37.0	93 26.5	113 32.2	81 23.1	33 9.4	130 37.0	54 15.4	32 9.1	12 3.4	24 6.8
	知的障害	111 100.0	53 47.7	43 38.7	64 57.7	36 32.4	52 46.8	25 22.5	19 17.1	47 42.3	24 21.6	7 6.3	5 4.5	5 4.5
	精神障害	72 100.0	34 47.2	27 37.5	27 37.5	15 20.8	47 65.3	33 45.8	10 13.9	26 36.1	16 22.2	2 2.8	3 4.2	3 4.2
	無回答	6 100.0	2 33.3	1 16.7	2 33.3	1 16.7	1 16.7	－	－	1 16.7	1 16.7	－	1 16.7	2 33.3

主な介助者との関係で見ると、配偶者では、「介助者自身の健康に不安がある」が、母親では「緊急時の対応に不安がある」が多くなっています。

問 9 ② 介助者が困っていること（主な介助者）

		全体	介助者自身の健康に不安がある	代わりの介助を頼める人がいない	緊急時の対応に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	仕事に出られない	長期の旅行や外出ができない	休養や息抜きの時間がない	特に困っていることはない	その他	無回答
	全体	486 100.0	205 42.2	149 30.7	191 39.3	124 25.5	184 37.9	121 24.9	57 11.7	178 36.6	85 17.5	39 8.0	19 3.9	33 6.8
主な介助者	母親	127 100.0	61 48.0	48 37.8	68 53.5	44 34.6	60 47.2	33 26.0	20 15.7	52 40.9	31 24.4	7 5.5	6 4.7	8 6.3
	父親	11 100.0	6 54.5	1 9.1	3 27.3	1 9.1	4 36.4	2 18.2	4 36.4	4 36.4	- -	1 9.1	- -	- -
	配偶者	233 100.0	114 48.9	68 29.2	82 35.2	64 27.5	88 37.8	66 28.3	17 7.3	86 36.9	38 16.3	15 6.4	9 3.9	13 5.6
	子ども	88 100.0	14 15.9	19 21.6	25 28.4	12 13.6	21 23.9	11 12.5	10 11.4	24 27.3	10 11.4	15 17.0	4 4.5	9 10.2
	その他の親族	27 100.0	10 37.0	13 48.1	13 48.1	3 11.1	11 40.7	9 33.3	6 22.2	12 44.4	6 22.2	1 3.7	- -	3 11.1

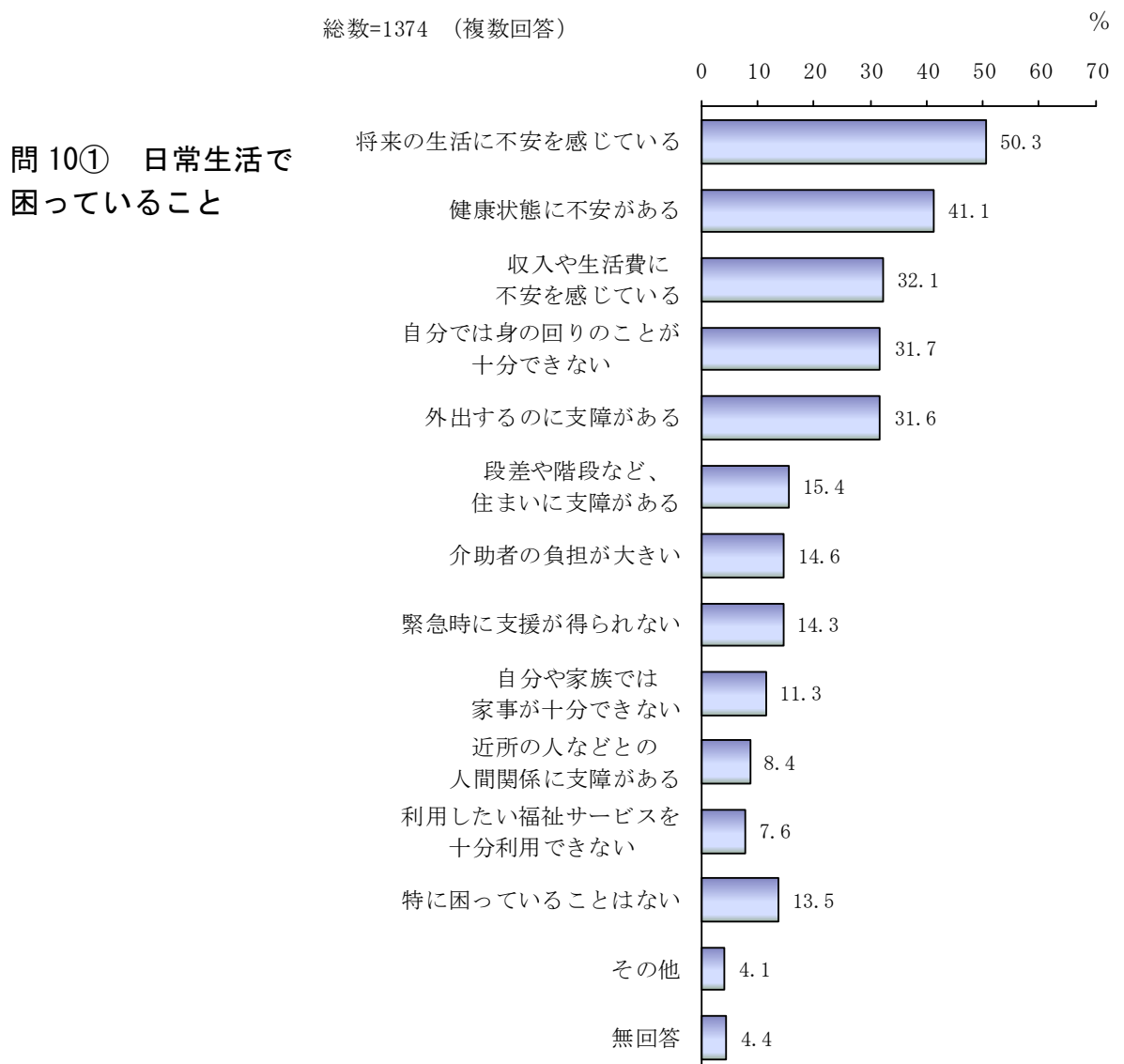
3 日常生活について

(1) 日常生活で困っていること

問 10 あなたには、日常生活で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「将来の生活に不安を感じている」が 50.3%、「健康状態に不安がある」が 41.1%、「収入や生活費に不安を感じている」が 32.1%、「自分では身の回りのことが十分できない」が 31.7%、「外出するのに支障がある」が 31.6%となっています。

障害種別ごとに見ると、身体障害のある方では、「健康状態に不安がある」が多く、知的障害や精神障害のある方では、「将来の生活に不安を感じている」が多くなっています。



		全体	自分では身の回りのことができない	自分や家族では家事が できない	健康状態に不安がある	介助者の負担が大きい	段差や階段など、 住まいに支障がある	外出するのに支障がある	利用したい福祉サービス を十分利用できない
	全体	1374 100.0	435 31.7	155 11.3	565 41.1	200 14.6	211 15.4	434 31.6	105 7.6
障害の種類	身体障害	930 100.0	315 33.9	112 12.0	428 46.0	151 16.2	199 21.4	340 36.6	65 7.0
	知的障害	259 100.0	114 44.0	26 10.0	67 25.9	48 18.5	12 4.6	78 30.1	30 11.6
	精神障害	274 100.0	64 23.4	28 10.2	112 40.9	31 11.3	14 5.1	58 21.2	23 8.4
	無回答	29 100.0	6 20.7	4 13.8	8 27.6	2 6.9	1 3.4	6 20.7	1 3.4

		収入や生活費に不安を感じている	緊急時に支援が得られない	近所の人などとの人間関係に支障がある	将来の生活に不安を感じている	特に困っていることはない	その他	無回答
	全体	441 32.1	197 14.3	116 8.4	691 50.3	186 13.5	56 4.1	60 4.4
障害の種類	身体障害	266 28.6	143 15.4	55 5.9	409 44.0	123 13.2	33 3.5	44 4.7
	知的障害	90 34.7	50 19.3	38 14.7	166 64.1	28 10.8	14 5.4	11 4.2
	精神障害	120 43.8	34 12.4	36 13.1	174 63.5	35 12.8	13 4.7	6 2.2
	無回答	7 24.1	3 10.3	- -	12 41.4	6 20.7	2 6.9	3 10.3

年齢との関係で見ると、18～39 歳や 40～64 歳では、「将来の生活に不安を感じている」が、65 歳以上では、「健康状態に不安がある」が多くなっています。

問 10② 日常生活で困っていること（年齢）

		全 体	自 分 で は 身 の 回 り の こ と が 十 分 で き な い	自 分 や 家 族 で は 家 事 が 十 分 で き な い	健 康 状 態 に 不 安 が あ る	介 助 者 の 負 担 が 大 き い	段 差 や 階 段 な ど、 住 ま い に 支 障 が あ る	外 出 す る の に 支 障 が あ る	利 用 し た い 福 祉 サ ー ビ ス を 十 分 利 用 で き な い
	全体	1374 100.0	435 31.7	155 11.3	565 41.1	200 14.6	211 15.4	434 31.6	105 7.6
年 齢	18～39歳	289 100.0	108 37.4	20 6.9	75 26.0	52 18.0	10 3.5	78 27.0	32 11.1
	40～64歳	414 100.0	96 23.2	48 11.6	175 42.3	42 10.1	43 10.4	100 24.2	29 7.0
	65歳以上	659 100.0	229 34.7	84 12.7	310 47.0	106 16.1	156 23.7	251 38.1	43 6.5
	無回答	12 100.0	2 16.7	3 25.0	5 41.7	－ －	2 16.7	5 41.7	1 8.3

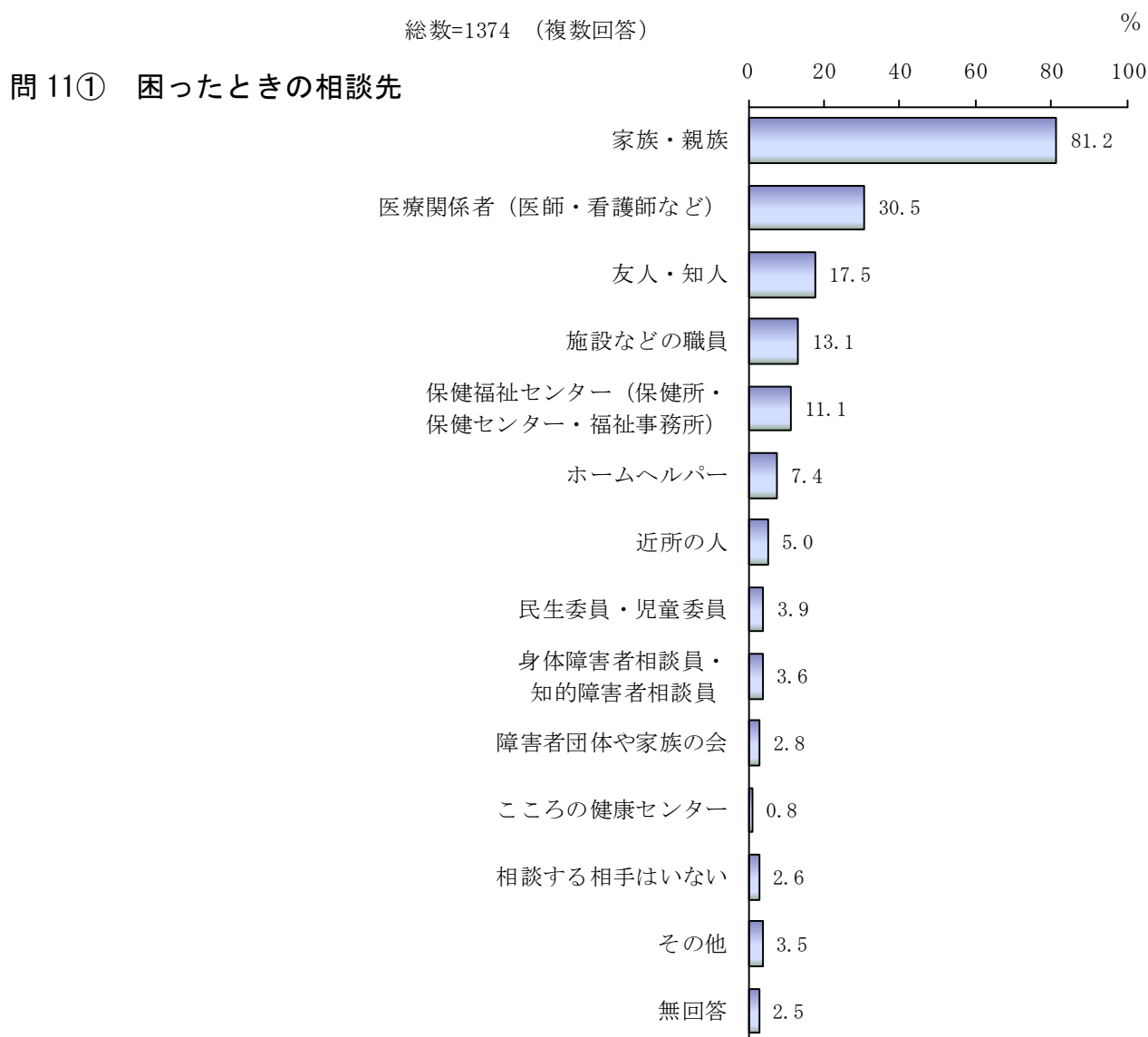
		不 安 を 感 じ て い る 入 入 や 生 活 費 に	緊 急 時 に 支 援 が 得 ら れ な い	近 所 の 人 な ど の 人 間 関 係 に 支 障 が あ る	将 来 の 生 活 に 不 安 を 感 じ て い る	特 に 困 っ て い る	そ の 他	無 回 答
	全体	441 32.1	197 14.3	116 8.4	691 50.3	186 13.5	56 4.1	60 4.4
年 齢	18～39歳	112 38.8	53 18.3	35 12.1	202 69.9	33 11.4	9 3.1	9 3.1
	40～64歳	155 37.4	59 14.3	42 10.1	234 56.5	59 14.3	18 4.3	14 3.4
	65歳以上	170 25.8	83 12.6	38 5.8	248 37.6	93 14.1	28 4.2	37 5.6
	無回答	4 33.3	2 16.7	1 8.3	7 58.3	1 8.3	1 8.3	－ －

（２）困ったときの相談先

問 11 あなたが困ったときに相談する相手は誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

全体では、「家族・親族」が81.2%、「医療関係者（医師・看護師など）」が30.5%、「友人・知人」が17.5%、「施設などの職員」が13.1%となっています。

障害種別ごとに見ると、「家族・親族」以外では、精神障害のある方で「医療関係者（医師・看護師など）」が多くなっています。



		全体	家族・親族	友人・知人	近所の人	ホームヘルパー	施設などの職員	(医師・医療関係者・看護師など)	障害者団体や家族の会
	全体	1374 100.0	1116 81.2	240 17.5	69 5.0	102 7.4	180 13.1	419 30.5	39 2.8
障害の種類	身体障害	930 100.0	760 81.7	164 17.6	60 6.5	92 9.9	99 10.6	272 29.2	25 2.7
	知的障害	259 100.0	213 82.2	39 15.1	4 1.5	9 3.5	91 35.1	57 22.0	18 6.9
	精神障害	274 100.0	210 76.6	61 22.3	6 2.2	10 3.6	37 13.5	138 50.4	6 2.2
	無回答	29 100.0	23 79.3	3 10.3	3 10.3	1 3.4	3 10.3	5 17.2	1 3.4

		民生委員・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	(保健福祉センター・保健センター・福祉事務所)	こころの健康センター	相談する相手はいない	その他	無回答
	全体	53 3.9	49 3.6	152 11.1	11 0.8	36 2.6	48 3.5	35 2.5
障害の種類	身体障害	45 4.8	26 2.8	107 11.5	1 0.1	21 2.3	21 2.3	22 2.4
	知的障害	4 1.5	25 9.7	40 15.4	-	5 1.9	19 7.3	8 3.1
	精神障害	5 1.8	6 2.2	32 11.7	10 3.6	10 3.6	11 4.0	3 1.1
	無回答	2 6.9	1 3.4	1 3.4	-	2 6.9	-	3 10.3

家族状況との関係で見ると、「家族・親族」以外では、グループホームなどで暮らしている方で、「施設などの職員」が多くなっています。ひとり暮らしの方では、「友人・知人」、「近所の人」が、他より多くなっています。

問 11② 困ったときの相談先（家族状況）

		全体	家族・親族	友人・知人	近所の人	ホームヘルパー	施設などの職員	（医師・医療関係者 看護師など）	障害者団体や家族の会
	全体	1374 100.0	1116 81.2	240 17.5	69 5.0	102 7.4	180 13.1	419 30.5	39 2.8
家族状況	家族と住んでいる	1153 100.0	975 84.6	191 16.6	38 3.3	66 5.7	136 11.8	362 31.4	36 3.1
	グループホームなどで暮らしている	27 100.0	19 70.4	- -	- -	3 11.1	16 59.3	6 22.2	1 3.7
	ひとり暮らし	156 100.0	95 60.9	43 27.6	28 17.9	30 19.2	15 9.6	38 24.4	1 0.6
	その他	18 100.0	12 66.7	2 11.1	1 5.6	1 5.6	11 61.1	9 50.0	- -
	無回答	20 100.0	15 75.0	4 20.0	2 10.0	2 10.0	2 10.0	4 20.0	1 5.0

		民生委員・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	保健福祉センター	こころの健康センター	相談する相手はいない	その他	無回答
	全体	53 3.9	49 3.6	152 11.1	11 0.8	36 2.6	48 3.5	35 2.5
家族状況	家族と住んでいる	34 2.9	43 3.7	129 11.2	9 0.8	31 2.7	38 3.3	28 2.4
	グループホームなどで暮らしている	- -	- -	2 7.4	- -	- -	2 7.4	1 3.7
	ひとり暮らし	18 11.5	4 2.6	21 13.5	2 1.3	5 3.2	6 3.8	5 3.2
	その他	- -	1 5.6	- -	- -	- -	1 5.6	- -
	無回答	1 5.0	1 5.0	- -	- -	- -	1 5.0	1 5.0

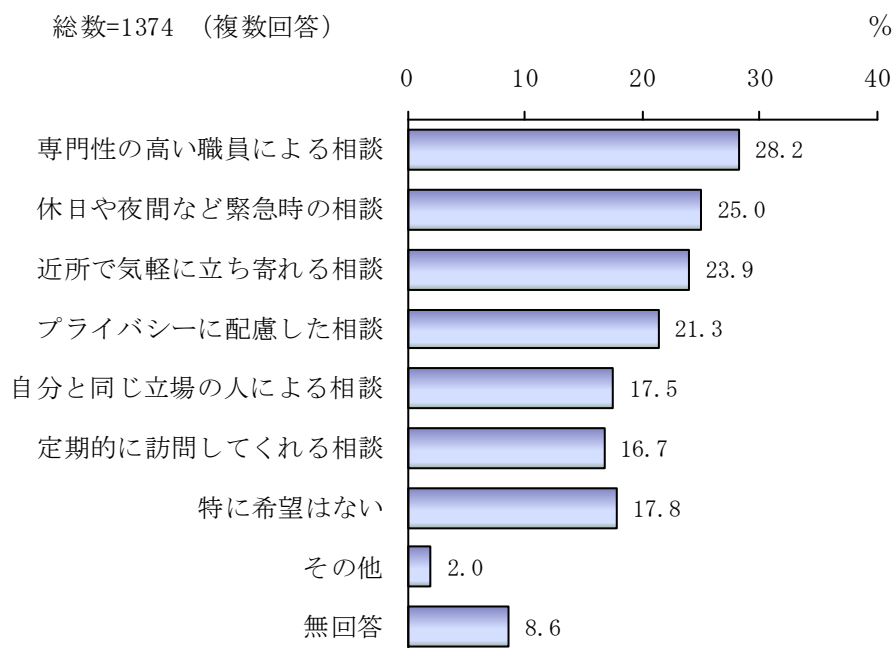
(3) 希望する相談制度

問 12 あなたは、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「専門性の高い職員による相談」が 28.2%、「休日や夜間など緊急時の相談」が 25.0%、「近所で気軽に立ち寄れる相談」が 23.9%、「プライバシーに配慮した相談」が 21.3%となっています。

問 12① 希望する相談制度

総数=1374 (複数回答)



	全体	近所で気軽に立ち寄れる相談	休日や夜間など緊急時の相談	専門性の高い職員による相談	自分と同じ立場の人による相談	定期的に訪問してくれる相談	プライバシーに配慮した相談	特に希望はない	その他	無回答
全体	1374 100.0	329 23.9	343 25.0	387 28.2	240 17.5	229 16.7	293 21.3	244 17.8	27 2.0	118 8.6
障害の種類	身体障害	930 100.0	217 23.3	232 24.9	241 25.9	165 17.7	158 17.0	171 18.4	173 18.6	16 8.6
	知的障害	259 100.0	77 29.7	66 25.5	91 35.1	39 15.1	51 19.7	73 28.2	29 11.2	7 2.7
	精神障害	274 100.0	65 23.7	71 25.9	101 36.9	56 20.4	41 15.0	84 30.7	47 17.2	6 2.2
	無回答	29 100.0	5 17.2	5 17.2	5 17.2	3 10.3	3 10.3	6 20.7	7 24.1	1 3.4

年齢との関係で見ると、18～39 歳では、「専門性の高い職員による相談」、「プライバシーに配慮した相談」、「近所で気軽に立ち寄れる相談」が、他より多くなっています。

問 12② 希望する相談制度（年齢）

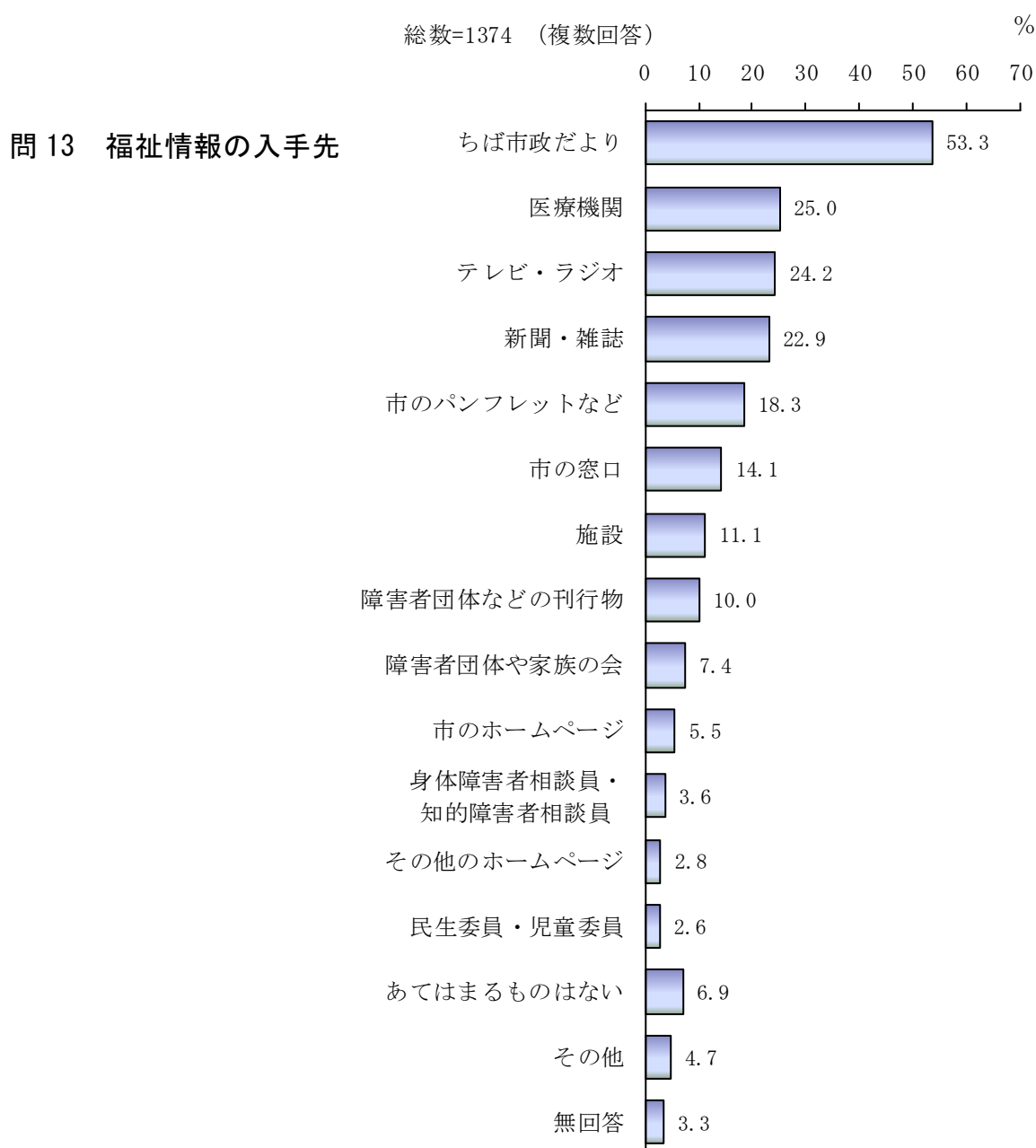
		全 体	近 所 で 気 軽 に 立 ち 寄 れ る 相 談	休 日 や 夜 間 な ど 緊 急 時 の 相 談	専 門 性 の 高 い 職 員 に よ る 相 談	自 分 と 同 じ 立 場 の 人 に よ る 相 談	定 期 的 に 訪 問 し て く れ る 相 談	プ ラ イ バ シ ー に 配 慮 し た 相 談	特 に 希 望 は な い	そ の 他	無 回 答
全体		1374 100.0	329 23.9	343 25.0	387 28.2	240 17.5	229 16.7	293 21.3	244 17.8	27 2.0	118 8.6
年 齢	18～39歳	289 100.0	82 28.4	76 26.3	115 39.8	57 19.7	40 13.8	88 30.4	33 11.4	7 2.4	18 6.2
	40～64歳	414 100.0	96 23.2	102 24.6	120 29.0	81 19.6	56 13.5	104 25.1	83 20.0	7 1.7	31 7.5
	65歳以上	659 100.0	146 22.2	160 24.3	148 22.5	100 15.2	130 19.7	97 14.7	127 19.3	13 2.0	69 10.5
	無回答	12 100.0	5 41.7	5 41.7	4 33.3	2 16.7	3 25.0	4 33.3	1 8.3	— —	— —

(4) 福祉情報の入手先

問 13 あなたは、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「ちば市政だより」が 53.3%、「医療機関」が 25.0%、「テレビ・ラジオ」が 24.2%、「新聞・雑誌」が 22.9%となっています。

障害種別ごとに見ると、「ちば市政だより」以外では、精神障害のある方で「医療機関」が多くなっています。知的障害のある方では、「障害者団体などの刊行物」、「障害者団体や家族の会」が、他より多くなっています。



		全体	ちば市政だより	市のパンフレットなど	障害者団体などの 刊行物	市のホームページ	その他のホームページ	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	施設
	全体	1374 100.0	733 53.3	252 18.3	137 10.0	75 5.5	38 2.8	315 22.9	332 24.2	152 11.1
障害の 種類	身体障害	930 100.0	536 57.6	193 20.8	86 9.2	53 5.7	21 2.3	244 26.2	247 26.6	73 7.8
	知的障害	259 100.0	124 47.9	47 18.1	52 20.1	9 3.5	5 1.9	40 15.4	52 20.1	85 32.8
	精神障害	274 100.0	119 43.4	34 12.4	19 6.9	15 5.5	14 5.1	48 17.5	53 19.3	27 9.9
	無回答	29 100.0	13 44.8	5 17.2	4 13.8	－ －	－ －	7 24.1	6 20.7	4 13.8

		医療機関	障害者団体や 家族の会	民生委員・児童委員	身体障害者相談員・ 知的障害者相談員	市の窓口	あてはまるもの はない	その他	無回答
	全体	343 25.0	101 7.4	36 2.6	49 3.6	194 14.1	95 6.9	64 4.7	46 3.3
障害の 種類	身体障害	227 24.4	47 5.1	29 3.1	24 2.6	130 14.0	57 6.1	41 4.4	29 3.1
	知的障害	23 8.9	56 21.6	5 1.9	22 8.5	53 20.5	19 7.3	16 6.2	10 3.9
	精神障害	114 41.6	16 5.8	4 1.5	9 3.3	32 11.7	25 9.1	12 4.4	6 2.2
	無回答	4 13.8	2 6.9	－ －	2 6.9	5 17.2	3 10.3	2 6.9	3 10.3

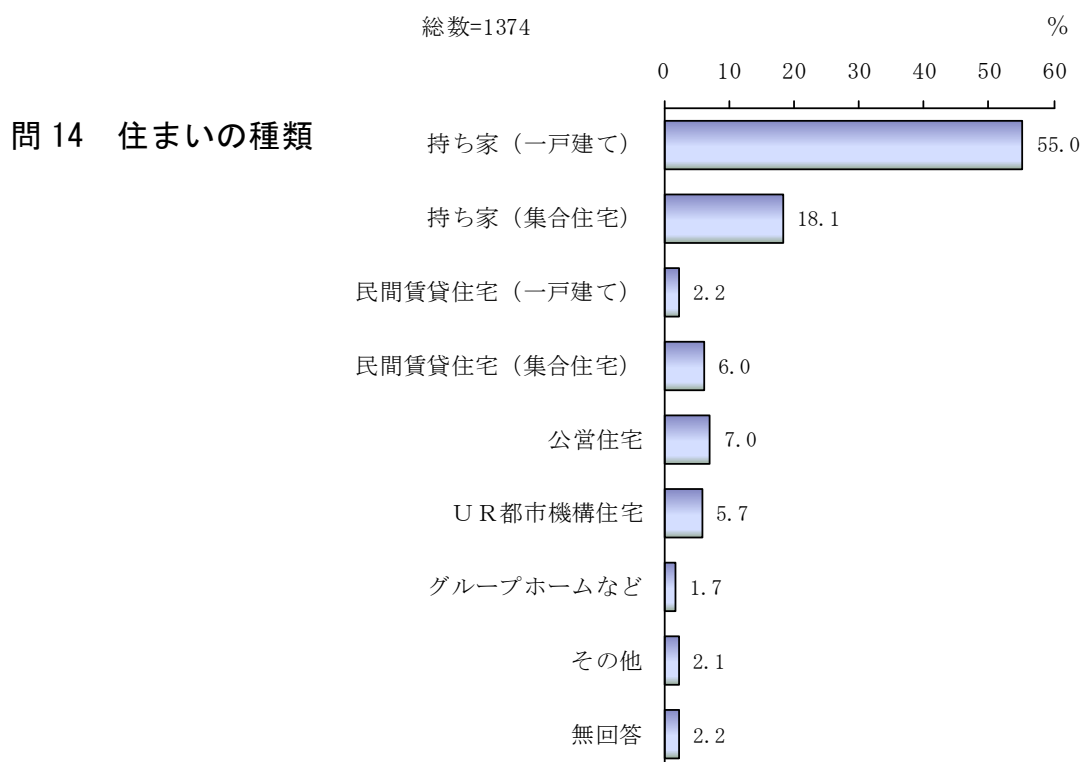
4 生活環境について

(1) 住まいの種類

問 14 あなたの住まいの種類をお聞きます。(あてはまるものひとつに○)

全体では、「持ち家（一戸建て）」が 55.0%、「持ち家（集合住宅）」が 18.1% となっています。

障害種別ごとに見ると、精神障害のある方では、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が、他よりも多くなっています。



	全体	持ち家（一戸建て）	持ち家（集合住宅）	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	公営住宅	UR都市機構住宅	グループホームなど	その他	無回答
全体	1374 100.0	756 55.0	249 18.1	30 2.2	83 6.0	96 7.0	78 5.7	23 1.7	29 2.1	30 2.2
障害の種類	身体障害	930 100.0	548 58.9	158 17.0	15 1.6	41 4.4	67 7.2	53 5.7	12 1.3	18 1.9
	知的障害	259 100.0	139 53.7	44 17.0	6 2.3	13 5.0	18 6.9	15 5.8	11 4.2	8 3.1
	精神障害	274 100.0	102 37.2	63 23.0	11 4.0	39 14.2	25 9.1	19 6.9	4 1.5	7 2.6
	無回答	29 100.0	17 58.6	5 17.2	1 3.4	-	3 10.3	-	-	3 10.3

（２）住まいについて困っていること

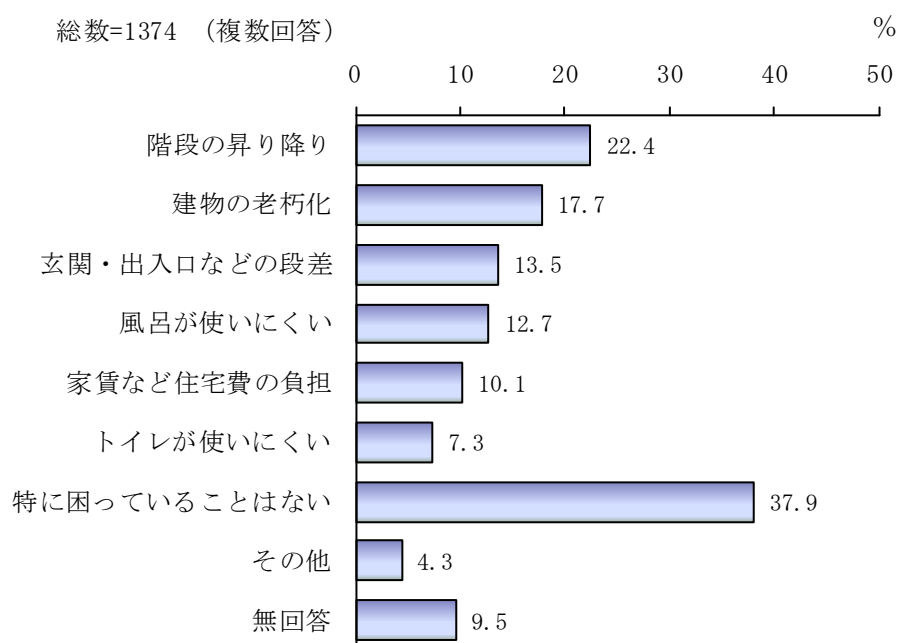
問 15 あなたには、住まいについて困っていることがありますか。（あてはまるものすべてに○）

全体では、「階段の昇り降り」が 22.4%、「建物の老朽化」が 17.7%、「玄関・出入口などの段差」が 13.5%、「風呂が使いにくい」が 12.7%となっています。

障害種別ごとに見ると、精神障害のある方では、「建物の老朽化」、「家賃など住宅費の負担」が他より多くなっています。

問 15① 住まいについて困っていること

総数=1374 （複数回答）



	全体	階段の昇り降り	玄関・出入口などの段差	風呂が使いにくい	トイレが使いにくい	建物の老朽化	家賃など住宅費の負担	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	1374 100.0	308 22.4	186 13.5	174 12.7	100 7.3	243 17.7	139 10.1	521 37.9	59 4.3	130 9.5
障害の種類										
身体障害	930 100.0	280 30.1	174 18.7	152 16.3	84 9.0	169 18.2	80 8.6	296 31.8	37 4.0	80 8.6
知的障害	259 100.0	22 8.5	17 6.6	19 7.3	13 5.0	35 13.5	20 7.7	131 50.6	19 7.3	31 12.0
精神障害	274 100.0	29 10.6	16 5.8	19 6.9	13 4.7	55 20.1	53 19.3	116 42.3	13 4.7	26 9.5
無回答	29 100.0	4 13.8	2 6.9	1 3.4	1 3.4	3 10.3	1 3.4	15 51.7	2 6.9	5 17.2

身体障害の部位との関係で見ると、肢体不自由のある方では、「階段の昇り降り」、「玄関・出入口などの段差」が、他より多くなっています。

問 15② 住まいについて困っていること（身体障害の部位）

		全体	階段の昇り降り	玄関・出入口などの段差	風呂が使いにくい	トイレが使いにくい	建物の老朽化	家賃など住宅費の負担	特に困っていることはない	その他	無回答
全体		930 100.0	280 30.1	174 18.7	152 16.3	84 9.0	169 18.2	80 8.6	296 31.8	37 4.0	80 8.6
身体障害の部位	肢体不自由	481 100.0	173 36.0	124 25.8	110 22.9	62 12.9	87 18.1	40 8.3	114 23.7	19 4.0	39 8.1
	音声・言語・そしゃく機能障害	41 100.0	8 19.5	8 19.5	10 24.4	6 14.6	8 19.5	6 14.6	11 26.8	2 4.9	4 9.8
	視覚障害	74 100.0	24 32.4	14 18.9	9 12.2	6 8.1	12 16.2	6 8.1	20 27.0	6 8.1	6 8.1
	聴覚・平衡機能障害	65 100.0	17 26.2	14 21.5	11 16.9	5 7.7	8 12.3	6 9.2	26 40.0	2 3.1	5 7.7
	内部機能障害	318 100.0	79 24.8	40 12.6	29 9.1	15 4.7	61 19.2	29 9.1	129 40.6	14 4.4	29 9.1
	無回答	38 100.0	14 36.8	5 13.2	6 15.8	4 10.5	8 21.1	5 13.2	10 26.3	-	6 15.8

住まいの種類との関係で見ると、民間賃貸住宅（一戸建て）では、「建物の老朽化」が多くなっています。民間賃貸住宅（一戸建て／集合住宅）、UR 都市機構住宅では、「家賃など住宅費の負担」が多くなっています。

問 15③ 住まいについて困っていること（住まいの種類）

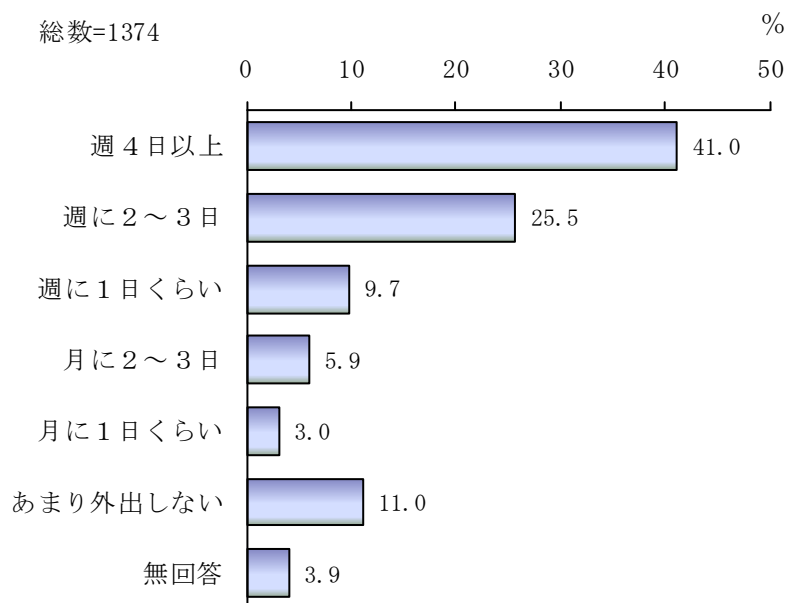
		全体	階段の昇り降り	玄関・出入口などの段差	風呂が使いにくい	トイレが使いにくい	建物の老朽化	家賃など住宅費の負担	特に困っていることはない	その他	無回答
全体		1374 100.0	308 22.4	186 13.5	174 12.7	100 7.3	243 17.7	139 10.1	521 37.9	59 4.3	130 9.5
住まいの種類	持ち家（一戸建て）	756 100.0	180 23.8	138 18.3	88 11.6	41 5.4	160 21.2	15 2.0	303 40.1	26 3.4	59 7.8
	持ち家（集合住宅）	249 100.0	42 16.9	14 5.6	20 8.0	14 5.6	18 7.2	17 6.8	128 51.4	14 5.6	27 10.8
	民間賃貸住宅（一戸建て）	30 100.0	4 13.3	5 16.7	5 16.7	5 16.7	13 43.3	10 33.3	5 16.7	1 3.3	2 6.7
	民間賃貸住宅（集合住宅）	83 100.0	16 19.3	6 7.2	16 19.3	16 19.3	13 15.7	32 38.6	28 33.7	6 7.2	2 2.4
	公営住宅	96 100.0	30 31.3	5 5.2	24 25.0	10 10.4	18 18.8	21 21.9	23 24.0	6 6.3	10 10.4
	UR都市機構住宅	78 100.0	23 29.5	9 11.5	13 16.7	6 7.7	16 20.5	31 39.7	12 15.4	-	10 12.8
	グループホームなど	23 100.0	4 17.4	3 13.0	2 8.7	2 8.7	1 4.3	5 21.7	9 39.1	2 8.7	3 13.0
	その他	29 100.0	4 13.8	3 10.3	4 13.8	3 10.3	3 10.3	4 13.8	12 41.4	3 10.3	1 3.4
	無回答	30 100.0	5 16.7	3 10.0	2 6.7	3 10.0	1 3.3	4 13.3	1 3.3	1 3.3	16 53.3

(3) 外出の頻度

問 16 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。(あてはまるものひとつに○)

「週4日以上」が41.0%、「週に2～3日」が25.5%となっています。「あまり外出しない」は11.0%でした。

問 16① 外出の頻度



		全体	週4日以上	週に2～3日	週に1日くらい	月に2～3日	月に1日くらい	あまり外出しない	無回答
全体		1374 100.0	563 41.0	351 25.5	133 9.7	81 5.9	41 3.0	151 11.0	54 3.9
障害の種類	身体障害	930 100.0	304 32.7	277 29.8	101 10.9	61 6.6	34 3.7	110 11.8	43 4.6
	知的障害	259 100.0	177 68.3	28 10.8	12 4.6	12 4.6	4 1.5	19 7.3	7 2.7
	精神障害	274 100.0	138 50.4	66 24.1	22 8.0	14 5.1	5 1.8	25 9.1	4 1.5
	無回答	29 100.0	9 31.0	7 24.1	4 13.8	1 3.4	— —	5 17.2	3 10.3

身体障害の部位との関係で見ると、聴覚・平衡機能障害のある方では、「週4日以上」が多くなっています。肢体不自由、音声・言語・そしゃく機能障害、視覚障害のある方では、「あまり外出しない」という回答が、他より多くなっています。

問 16② 外出の頻度（身体障害の部位）

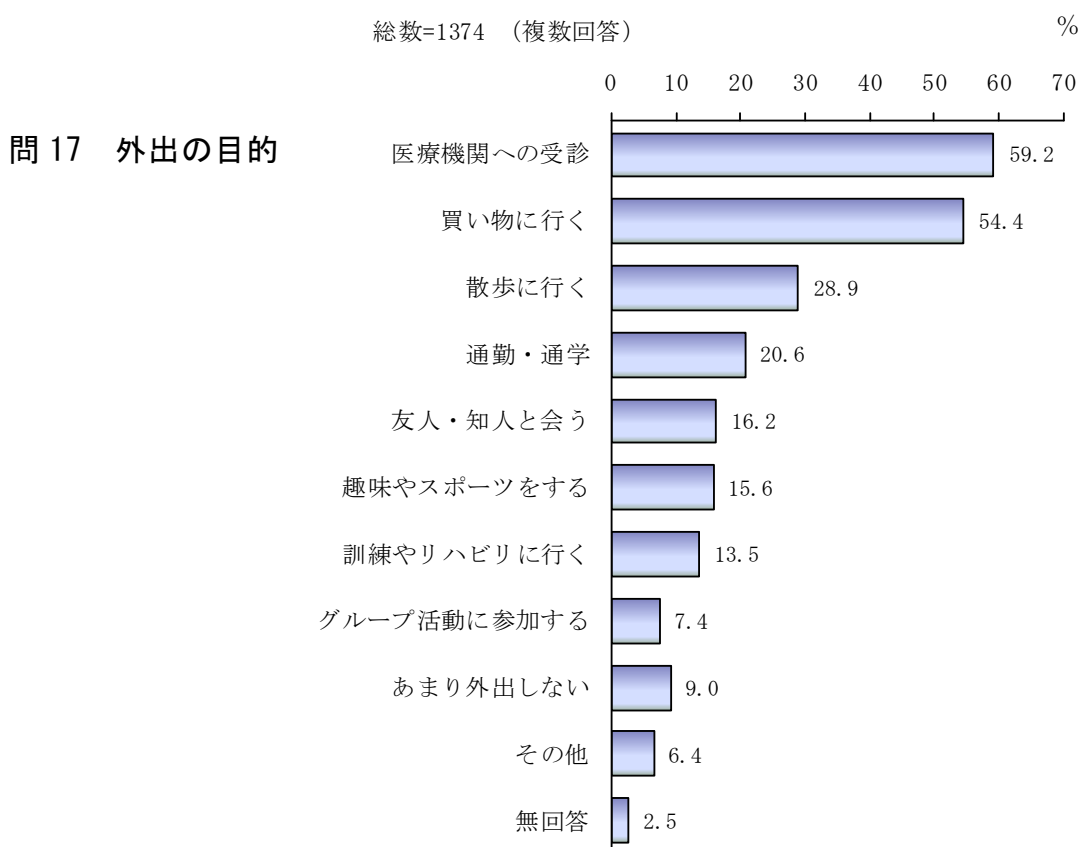
		全 体	週 4 日 以 上	週 に 2 ～ 3 日	週 に 1 日 く ら い	月 に 2 ～ 3 日	月 に 1 日 く ら い	あ ま り 外 出 し な い	無 回 答
全体		930 100.0	304 32.7	277 29.8	101 10.9	61 6.6	34 3.7	110 11.8	43 4.6
身体 障 害 の 部 位	肢体不自由	481 100.0	145 30.1	137 28.5	54 11.2	35 7.3	17 3.5	74 15.4	19 4.0
	音声・言語・ そしゃく機能障害	41 100.0	12 29.3	14 34.1	3 7.3	－ －	2 4.9	8 19.5	2 4.9
	視覚障害	74 100.0	20 27.0	24 32.4	8 10.8	3 4.1	5 6.8	11 14.9	3 4.1
	聴覚・平衡機能障害	65 100.0	31 47.7	16 24.6	7 10.8	－ －	3 4.6	5 7.7	3 4.6
	内部機能障害	318 100.0	110 34.6	99 31.1	32 10.1	22 6.9	9 2.8	30 9.4	16 5.0
	無回答	38 100.0	8 21.1	10 26.3	6 15.8	5 13.2	3 7.9	3 7.9	3 7.9

(4) 外出の目的

問 17 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「医療機関への受診」が 59.2%、「買い物に行く」が 54.4%、「散歩に行く」が 28.9%、「通勤・通学」が 20.6%となっています。

障害種別ごとに見ると、知的障害のある方では、「通勤・通学」や「グループ活動に参加する」が、他より多くなっています。



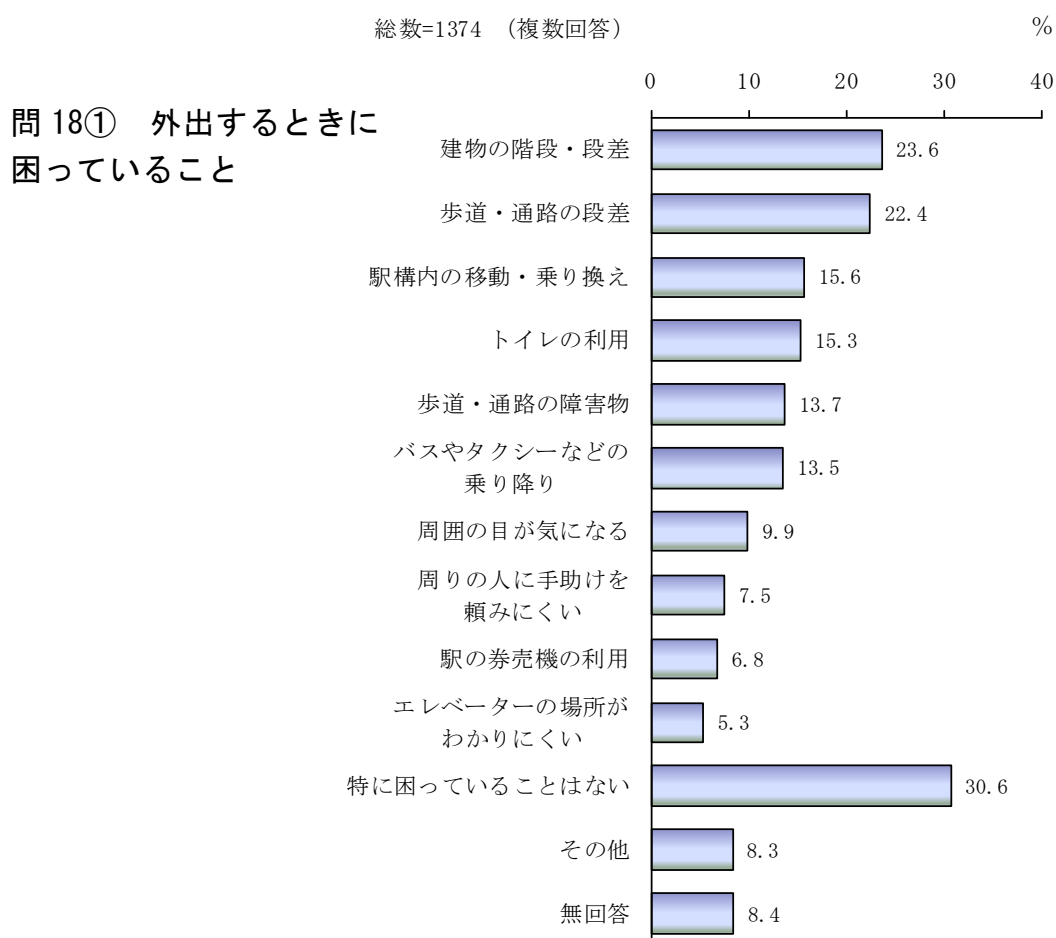
	全体	通勤・通学	訓練やリハビリに行く	医療機関への受診	買い物に行く	友人・知人と会う	趣味やスポーツをする	グループ活動に参加する	散歩に行く	あまり外出しない	その他	無回答
全体	1374 100.0	283 20.6	186 13.5	813 59.2	748 54.4	222 16.2	215 15.6	101 7.4	397 28.9	124 9.0	88 6.4	35 2.5
障害の種類												
身体障害	930 100.0	122 13.1	144 15.5	597 64.2	478 51.4	151 16.2	130 14.0	59 6.3	268 28.8	89 9.6	54 5.8	25 2.7
知的障害	259 100.0	126 48.6	23 8.9	91 35.1	147 56.8	32 12.4	43 16.6	36 13.9	76 29.3	18 6.9	34 13.1	7 2.7
精神障害	274 100.0	61 22.3	33 12.0	180 65.7	172 62.8	49 17.9	46 16.8	16 5.8	88 32.1	23 8.4	17 6.2	3 1.1
無回答	29 100.0	5 17.2	1 3.4	13 44.8	13 44.8	5 17.2	4 13.8	1 3.4	6 20.7	4 13.8	-	4 13.8

（５）外出するときに困っていること

問 18 あなたには、外出するときに困っていることがありますか。（あてはまるものすべてに○）

全体では、「建物の階段・段差」が 23.6%、「歩道・通路の段差」が 22.4%、「駅構内の移動・乗り換え」が 15.6%、「トイレの利用」が 15.3%となっています。

障害種別ごとに見ると、知的障害のある方では、「駅の券売機の利用」が、精神障害のある方では、「周囲の目が気になる」が、他より多くなっています。



	全体	歩道・通路の段差	歩道・通路の障害物	バスやタクシーなどの乗り降り	建物の階段・段差	駅構内の移動・乗り換え	エレベーターの場所がわかりにくい	駅の券売機の利用	トイレの利用	周りの人に手助けを頼みにくい	周囲の目が気になる	特に困っている	その他	無回答
全体	1374 100.0	308 22.4	188 13.7	185 13.5	324 23.6	215 15.6	73 5.3	93 6.8	210 15.3	103 7.5	136 9.9	421 30.6	114 8.3	116 8.4
障害の種類														
身体障害	930 100.0	284 30.5	174 18.7	163 17.5	300 32.3	174 18.7	65 7.0	56 6.0	181 19.5	73 7.8	54 5.8	229 24.6	68 7.3	71 7.6
知的障害	259 100.0	34 13.1	25 9.7	26 10.0	28 10.8	40 15.4	15 5.8	39 15.1	32 12.4	25 9.7	36 13.9	91 35.1	30 11.6	28 10.8
精神障害	274 100.0	25 9.1	15 5.5	15 5.5	24 8.8	17 6.2	8 2.9	10 3.6	21 7.7	14 5.1	65 23.7	112 40.9	23 8.4	21 7.7
無回答	29 100.0	4 13.8	-	3 10.3	5 17.2	3 10.3	1 3.4	-	1 3.4	1 3.4	4 13.8	12 41.4	2 6.9	5 17.2

身体障害の部位との関係で見ると、肢体不自由のある方では、「建物の階段・段差」が、視覚障害のある方では、「歩道・通路の段差」、「歩道・通路の障害物」が、他より多くなっています。

問 18② 外出するときに困っていること（身体障害の部位）

		全体	歩道・通路の段差	歩道・通路の障害物	バスやタクシーなどの乗り降りなど	建物の階段・段差	駅構内の移動・乗り換え	エレベーターの場所がわかりにくい	駅の券売機の利用	トイレの利用	周りの人に手助けを頼みにくい	周囲の目が気になる	特に困っている	その他	無回答
全体		930 100.0	284 30.5	174 18.7	163 17.5	300 32.3	174 18.7	65 7.0	56 6.0	181 19.5	73 7.8	54 5.8	229 24.6	68 7.3	71 7.6
身体障害の部位	肢体不自由	481 100.0	184 38.3	100 20.8	111 23.1	200 41.6	104 21.6	39 8.1	33 6.9	115 23.9	46 9.6	35 7.3	74 15.4	39 8.1	37 7.7
	音声・言語・そしゃく機能障害	41 100.0	13 31.7	9 22.0	9 22.0	12 29.3	7 17.1	1 2.4	4 9.8	12 29.3	5 12.2	4 9.8	5 12.2	5 12.2	5 12.2
	視覚障害	74 100.0	41 55.4	31 41.9	15 20.3	24 32.4	16 21.6	11 14.9	11 14.9	20 27.0	10 13.5	3 4.1	4 5.4	9 12.2	7 9.5
	聴覚・平衡機能障害	65 100.0	16 24.6	13 20.0	12 18.5	17 26.2	11 16.9	3 4.6	5 7.7	12 18.5	5 7.7	1 1.5	16 24.6	4 6.2	12 18.5
	内部機能障害	318 100.0	55 17.3	42 13.2	33 10.4	71 22.3	46 14.5	9 2.8	9 2.8	36 11.3	13 4.1	12 3.8	132 41.5	22 6.9	15 4.7
	無回答	38 100.0	9 23.7	4 10.5	4 10.5	8 21.1	5 13.2	6 15.8	1 2.6	5 13.2	2 5.3	3 7.9	6 15.8	2 5.3	9 23.7

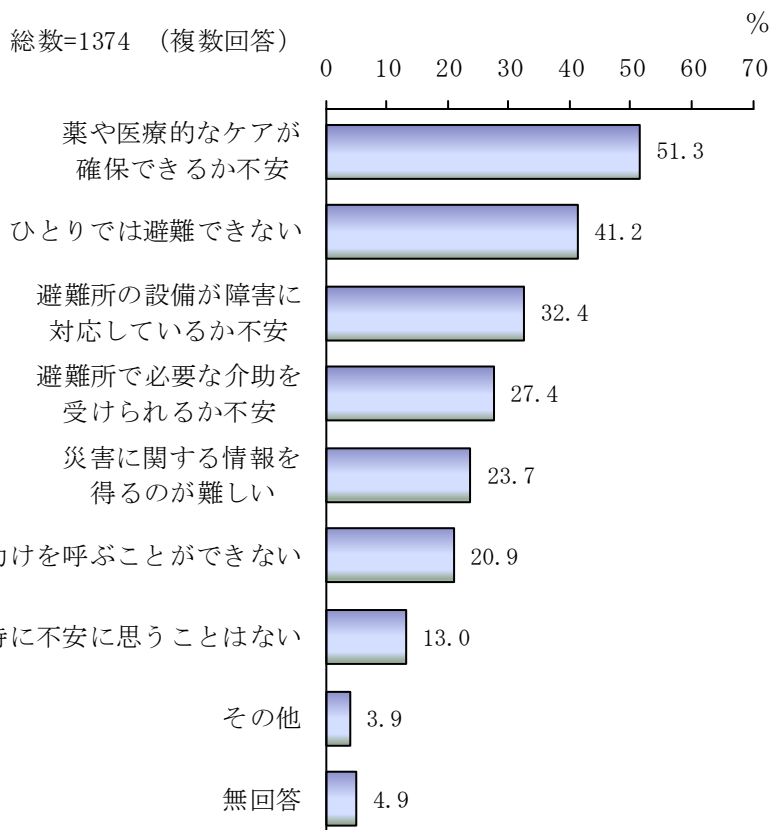
(6) 災害時不安に思うこと

問 19 あなたは、地震などの災害が起きたときについて、どのようなことを不安に思いますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「薬や医療的なケアが確保できるか不安」が51.3%、「ひとりでは避難できない」が41.2%、「避難所の設備が障害に対応しているか不安」が32.4%、「避難所で必要な介助を受けられるか不安」が27.4%となっています。

障害種別ごとに見ると、知的障害のある方では、「ひとりでは避難できない」が多くなっています。

問 19① 災害時不安に思うこと



	全体	ひとりでは避難できない	助けを呼ぶことができない	災害に関する情報が難しい	避難所の設備が障害に対応しているか不安	避難所で必要な介助を受けられるか不安	薬や医療的なケアが確保できるか不安	特に不安に思うことはない	その他	無回答
全体	1374 100.0	566 41.2	287 20.9	325 23.7	445 32.4	377 27.4	705 51.3	179 13.0	53 3.9	68 4.9
障害の種類										
身体障害	930 100.0	417 44.8	191 20.5	187 20.1	355 38.2	288 31.0	473 50.9	104 11.2	37 4.0	44 4.7
知的障害	259 100.0	154 59.5	100 38.6	115 44.4	78 30.1	89 34.4	107 41.3	37 14.3	9 3.5	14 5.4
精神障害	274 100.0	57 20.8	38 13.9	63 23.0	56 20.4	49 17.9	178 65.0	40 14.6	9 3.3	11 4.0
無回答	29 100.0	7 24.1	2 6.9	3 10.3	3 10.3	2 6.9	11 37.9	7 24.1	1 3.4	4 13.8

身体障害の部位との関係で見ると、肢体不自由、音声・言語・そしゃく機能障害、視覚障害のある方では、「ひとりでは避難できない」が多くなっています。音声・言語・そしゃく機能障害や内部機能障害では、「薬や医療的なケアが確保できるか不安」が、他より多くなっています。

問 19② 災害時不安に思うこと（身体障害の部位）

		全体	ひとりでは避難 できない	助けを呼ぶことが できない	災害に関する情報を 得るのが難しい	避難所の設備が障害に 対応しているか不安	避難所で必要な介助を 受けられるか不安	薬や医療的なケアが 確保できるか不安	特に不安に思うことは ない	その他	無回答
	全体	930 100.0	417 44.8	191 20.5	187 20.1	355 38.2	288 31.0	473 50.9	104 11.2	37 4.0	44 4.7
身体障害の部位	肢体不自由	481 100.0	285 59.3	126 26.2	104 21.6	228 47.4	185 38.5	220 45.7	42 8.7	19 4.0	22 4.6
	音声・言語・ そしゃく機能障害	41 100.0	26 63.4	24 58.5	12 29.3	19 46.3	20 48.8	25 61.0	- -	2 4.9	1 2.4
	視覚障害	74 100.0	50 67.6	25 33.8	31 41.9	32 43.2	29 39.2	35 47.3	3 4.1	7 9.5	3 4.1
	聴覚・平衡機能障害	65 100.0	29 44.6	20 30.8	30 46.2	20 30.8	21 32.3	21 32.3	7 10.8	1 1.5	4 6.2
	内部機能障害	318 100.0	81 25.5	25 7.9	30 9.4	92 28.9	69 21.7	200 62.9	50 15.7	12 3.8	12 3.8
	無回答	38 100.0	12 31.6	5 13.2	5 13.2	7 18.4	8 21.1	19 50.0	4 10.5	2 5.3	7 18.4

5 日中活動・就労について

(1) 日中の過ごし方

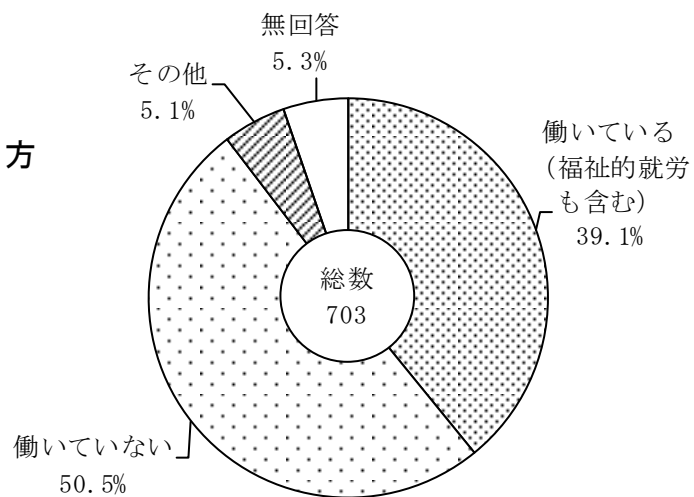
問 20 あなたは平日の日中を主にどのように過ごしていますか。最もあてはまる番号ひとつに○をつけてください。

※ この設問では、65歳未満の方の集計結果を掲載しています。

全体では、「働いている（福祉的就労も含む）」が 39.1%、「働いていない」が 50.5%となっています。

障害種別ごとに見ると、知的障害のある方では、「働いている（福祉的就労も含む）」が多くなっています。

問 20① 日中の過ごし方

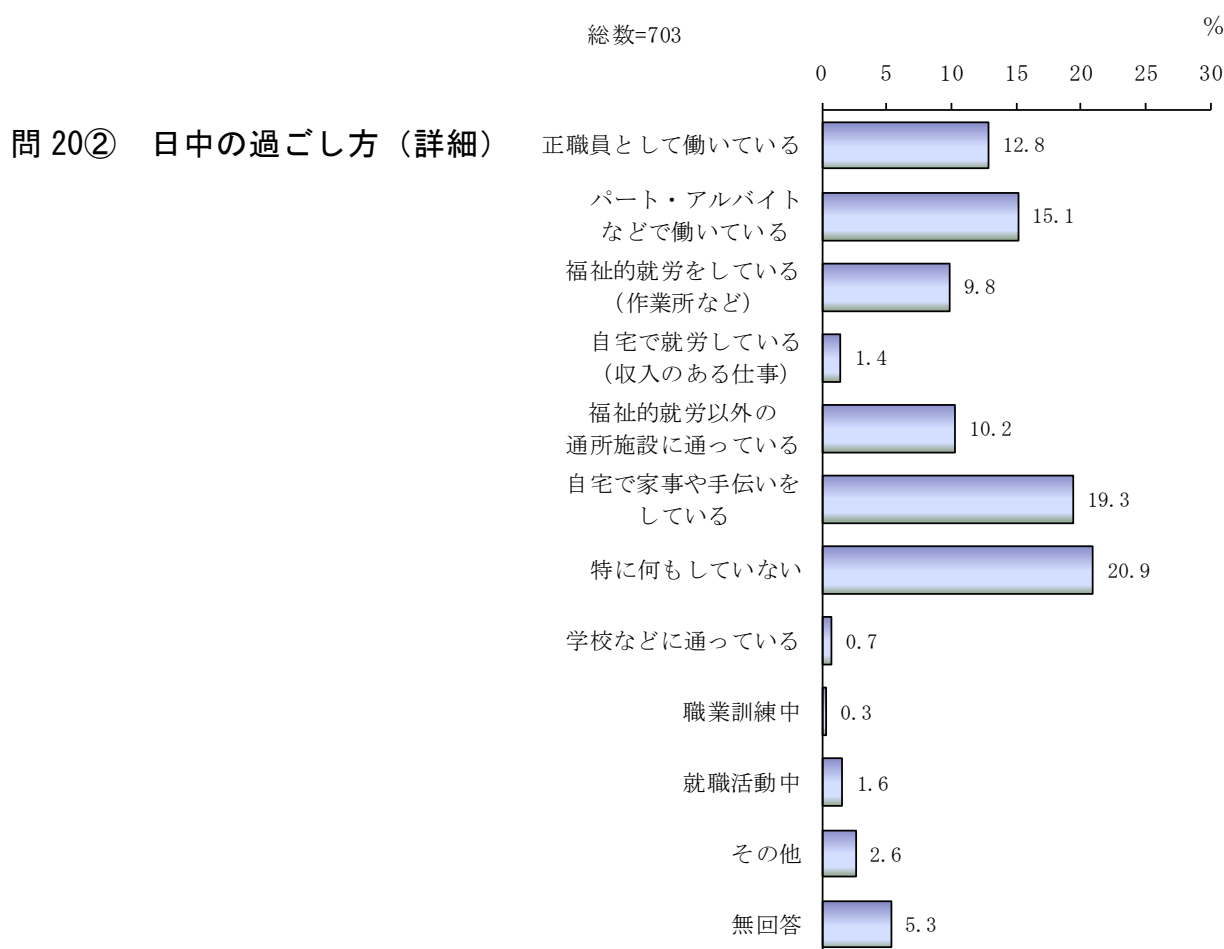


		全体	働いている (福祉的就労も含む)	働いていない	その他	無回答
全体		703	275	355	36	37
		100.0	39.1	50.5	5.1	5.3
障害の種類	身体障害	297	101	167	13	16
		100.0	34.0	56.2	4.4	5.4
	知的障害	248	128	98	8	14
		100.0	51.6	39.5	3.2	5.6
	精神障害	249	72	148	17	12
		100.0	28.9	59.4	6.8	4.8
無回答		11	5	4	2	—
		100.0	45.5	36.4	18.2	—

就労している方では、「正職員として働いている」が 12.8%、「パート・アルバイトなどで働いている」が 15.1%、「福祉的就労をしている（作業所など）」が 9.8%となっています。

就労していない方では、「福祉的就労以外の通所施設に通っている」が 10.2%、「自宅で家事や手伝いをしている」が 19.3%、「特になにもしていない」が 20.9%となっています。

障害種別ごとに見ると、知的障害のある方では、「福祉的就労をしている（作業所など）」、「福祉的就労以外の通所施設に通っている」が多くなっています。



	全体	正職員として働いている	パート・アルバイトなどで働いている	福祉的就労をしている（作業所など）	自宅で就労している（収入のある仕事）	福祉的就労以外の通所施設に通っている	自宅で家事や手伝いをしている	特に何もしていない	学校などに通っている	職業訓練中	就職活動中	その他	無回答
全体	703	90	106	69	10	72	136	147	5	2	11	18	37
	100.0	12.8	15.1	9.8	1.4	10.2	19.3	20.9	0.7	0.3	1.6	2.6	5.3
障害の種類	身体障害	297	42	39	13	7	24	62	3	—	2	8	16
		100.0	14.1	13.1	4.4	2.4	8.1	20.9	1.0	—	0.7	2.7	5.4
	知的障害	248	25	43	60	—	57	18	1	1	3	3	14
		100.0	10.1	17.3	24.2	—	23.0	7.3	0.4	0.4	1.2	1.2	5.6
	精神障害	249	23	32	14	3	20	66	1	1	5	10	12
		100.0	9.2	12.9	5.6	1.2	8.0	26.5	0.4	0.4	2.0	4.0	4.8
	無回答	11	1	3	1	—	1	1	—	—	1	1	—
		100.0	9.1	27.3	9.1	—	9.1	9.1	—	—	9.1	9.1	—

年齢との関係で見ると、18～29 歳では、「パート・アルバイトなどで働いている」、「福祉的就労をしている（作業所など）」、「福祉的就労以外の通所施設に通っている」が多くなっていますが、年齢が上がると、「自宅で家事や手伝いをしている」、「特に何もしていない」という回答が増加しています。「正職員として働いている」という回答は、40～49 歳で多くなっています。

問 20③ 日中の過ごし方（年齢）

		全体	正職員として働いている	パート・アルバイトなどで働いている	福祉的就労をしている（作業所など）	自宅で就労している（収入のある仕事）	通所施設に通っている福祉的就労以外の	手伝いで家事や	特に何もしていない	学校などに通っている	職業訓練中	就職活動中	その他	無回答
	全体	703 100.0	90 12.8	106 15.1	69 9.8	10 1.4	72 10.2	136 19.3	147 20.9	5 0.7	2 0.3	11 1.6	18 2.6	37 5.3
年齢	18～29歳	149 100.0	17 11.4	31 20.8	34 22.8	— —	36 24.2	8 5.4	9 6.0	5 3.4	— —	3 2.0	4 2.7	2 1.3
	30～39歳	140 100.0	17 12.1	23 16.4	17 12.1	1 0.7	20 14.3	25 17.9	24 17.1	— —	2 1.4	2 1.4	1 0.7	8 5.7
	40～49歳	137 100.0	30 21.9	19 13.9	14 10.2	1 0.7	4 2.9	24 17.5	24 17.5	— —	— —	4 2.9	3 2.2	14 10.2
	50～59歳	135 100.0	21 15.6	18 13.3	1 0.7	2 1.5	7 5.2	36 26.7	36 26.7	— —	— —	1 0.7	5 3.7	8 5.9
	60～64歳	142 100.0	5 3.5	15 10.6	3 2.1	6 4.2	5 3.5	43 30.3	54 38.0	— —	— —	1 0.7	5 3.5	5 3.5

(2) 仕事をする上で困っていること

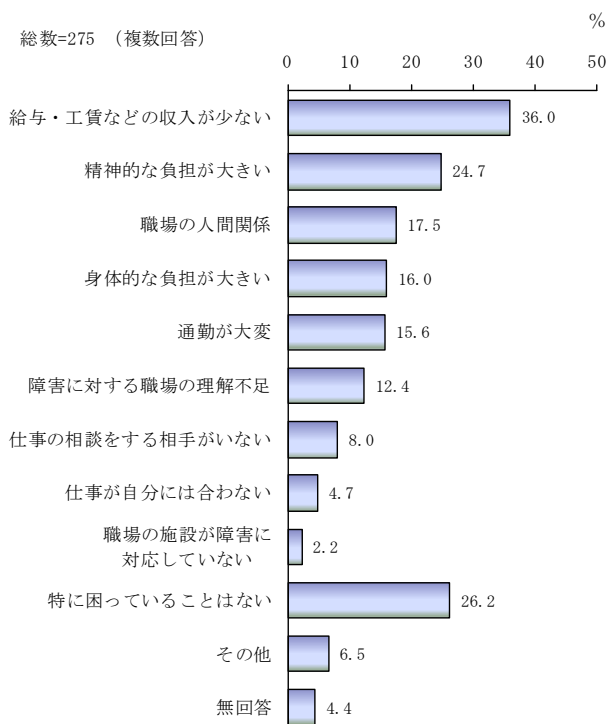
問 21 問 20 で「働いている（1～4番）」に○をつけた方にお聞きします。あなたが仕事をする上で困っていることはなんですか。（あてはまるものすべてに○）

※ この設問では、65 歳未満の方の集計結果を掲載しています。

全体では、「給与・工賃などの収入が少ない」が 36.0%、「精神的な負担が大きい」が 24.7%、「職場の人間関係」が 17.5%、「身体的な負担が大きい」が 16.0%、「通勤が大変」が 15.6%となっています。

障害種別ごとに見ると、「給与・工賃などの収入が少ない」以外では、身体障害のある方で、「身体的な負担が大きい」、「精神的な負担が大きい」が、精神障害のある方で、「精神的な負担が大きい」、「職場の人間関係」が多くなっています。

問 21① 仕事をする上で困っていること



	全体	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	通勤が大変	職場の施設が障害に対応していない	障害に対する職場の理解不足	職場の人間関係	仕事の相談をする相手がいない	仕事が自分には合わない	給与・工賃などの収入が少ない	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	275 100.0	44 16.0	68 24.7	43 15.6	6 2.2	34 12.4	48 17.5	22 8.0	13 4.7	99 36.0	72 26.2	18 6.5	12 4.4
障害の種類													
身体障害	101 100.0	28 27.7	25 24.8	18 17.8	5 5.0	15 14.9	11 10.9	8 7.9	4 4.0	38 37.6	26 25.7	5 5.0	4 4.0
知的障害	128 100.0	6 4.7	17 13.3	16 12.5	-	14 10.9	25 19.5	6 4.7	3 2.3	47 36.7	40 31.3	8 6.3	7 5.5
精神障害	72 100.0	13 18.1	32 44.4	13 18.1	1 1.4	9 12.5	18 25.0	8 11.1	7 9.7	26 36.1	11 15.3	8 11.1	1 1.4
無回答	5 100.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	-	-	1 20.0	1 20.0	-	2 40.0	2 40.0	-	-

就労形態との関係で見ると、正職員として働いている方では、「精神的な負担が大きい」が多くなっています。パート・アルバイトなどで働いている方や、福祉的就労をしている方では、「給与・工賃などの収入が少ない」が多くなっています。

問 21② 仕事をする上で困っていること（就労形態）

		全 体	身 体 的 な 負 担 が 大 き い	精 神 的 な 負 担 が 大 き い	通 勤 が 大 変	職 場 の 施 設 が 障 害 に 対 応 し て い な い	障 害 に 対 する 職 場 の 理 解 不 足	職 場 の 人 間 関 係	仕 事 の 相 談 を す る 相 手 が い な い	仕 事 が 自 分 に は 合 わ な い	給 与 ・ 工 賃 な ど の 収 入 が 少 な い	特 に 困 っ て い る こ と は な い	そ の 他	無 回 答
	全体	275 100.0	44 16.0	68 24.7	43 15.6	6 2.2	34 12.4	48 17.5	22 8.0	13 4.7	99 36.0	72 26.2	18 6.5	12 4.4
就 労 形 態	正職員として働いている	90 100.0	19 21.1	32 35.6	18 20.0	1 1.1	12 13.3	16 17.8	9 10.0	8 8.9	19 21.1	30 33.3	5 5.6	3 3.3
	パート・アルバイト などで働いている	106 100.0	22 20.8	26 24.5	17 16.0	5 4.7	17 16.0	21 19.8	9 8.5	2 1.9	39 36.8	28 26.4	7 6.6	5 4.7
	福祉的就労をしている (作業所など)	69 100.0	1 1.4	10 14.5	8 11.6	— —	5 7.2	11 15.9	3 4.3	3 4.3	38 55.1	11 15.9	4 5.8	4 5.8
	自宅で就労	10 100.0	2 20.0	— —	— —	— —	— —	— —	1 10.0	— —	3 30.0	3 30.0	2 20.0	— —

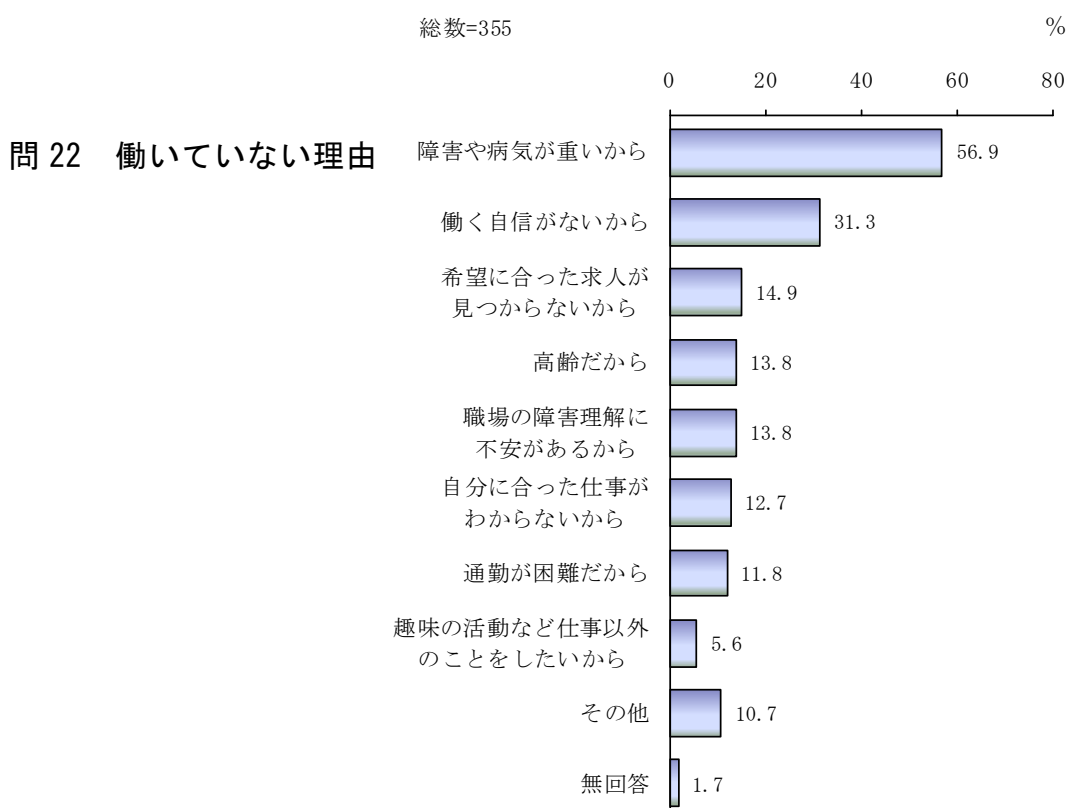
(3) 働いていない理由

問 22 問 20 で「働いていない（5～7番）」に○をつけた方にお聞きします。あなたが働いていない理由はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

※ この設問では、65 歳未満の方の集計結果を掲載しています。

全体では、「障害や病気が重いから」が56.9%、「働く自信がないから」が31.3%、「希望に合った求人が見つからないから」が14.9%となっています。

障害種別ごとに見ると、「障害や病気が重いから」以外では、精神障害のある方で、「働く自信がないから」が多くなっています。



		全体	障害や病気が重いから	高齢だから	自分に合った仕事が見つからないから	希望に合った求人が見つからないから	働く自信がないから	職場の障害理解に不安があるから	通勤が困難だから	趣味の活動など仕事以外のことをしたいから	その他	無回答
全体		355 100.0	202 56.9	49 13.8	45 12.7	53 14.9	111 31.3	49 13.8	42 11.8	20 5.6	38 10.7	6 1.7
障害の種類	身体障害	167 100.0	101 60.5	30 18.0	12 7.2	26 15.6	31 18.6	15 9.0	22 13.2	7 4.2	15 9.0	3 1.8
	知的障害	98 100.0	70 71.4	1 1.0	19 19.4	6 6.1	22 22.4	15 15.3	12 12.2	3 3.1	8 8.2	3 3.1
	精神障害	148 100.0	80 54.1	21 14.2	20 13.5	25 16.9	64 43.2	22 14.9	15 10.1	11 7.4	19 12.8	1 0.7
	無回答	4 100.0	2 50.0	－	2 50.0	－	1 25.0	1 25.0	－	－	－	－

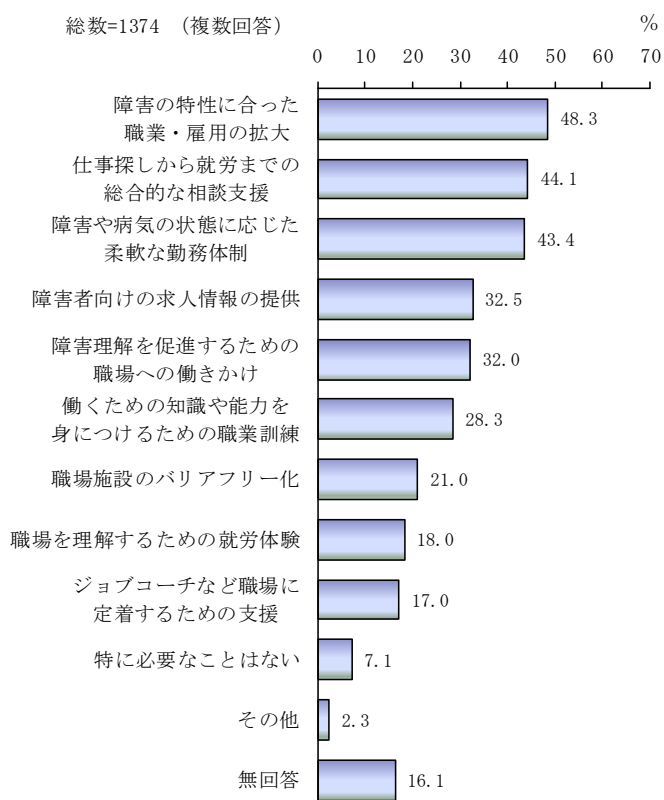
(4) 一般就労のために必要なこと

問 23 すべての方にお聞きします。障害のある人が、企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

全体では、「障害の特性に合った職業・雇用の拡大」が48.3%、「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」が44.1%、「障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務体制」が43.4%となっています。

障害種別ごとに見ると、知的障害のある方では、「障害の特性に合った職業・雇用の拡大」、「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」が、精神障害のある方では、「障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務体制」が、他より多くなっています。

問 23① 一般就労のために必要なこと



	全体	仕事探しから就労までの総合的な相談支援	働くための知識や能力を身につけるための職業訓練	職場を理解するための就労体験	障害の特性に合った職業・雇用の拡大	障害者向けの求人情報の提供	職場への働きかけを促進するための職業訓練	職場施設のバリアフリー化	障害や病気の状態に応じた柔軟な勤務体制	ジョブコーチなど職場に定着するための支援	特に必要なことはない	その他	無回答
全体	1374	606	389	248	663	446	439	288	597	234	97	31	221
	100.0	44.1	28.3	18.0	48.3	32.5	32.0	21.0	43.4	17.0	7.1	2.3	16.1
障害の種類	身体障害	930	348	218	124	412	278	254	222	386	89	79	181
		100.0	37.4	23.4	13.3	44.3	29.9	27.3	23.9	41.5	9.6	8.5	19.5
	知的障害	259	166	107	93	169	108	129	49	117	112	6	21
		100.0	64.1	41.3	35.9	65.3	41.7	49.8	18.9	45.2	43.2	2.3	8.1
障害の種類	精神障害	274	147	101	60	144	105	100	49	150	63	14	24
		100.0	53.6	36.9	21.9	52.6	38.3	36.5	17.9	54.7	23.0	5.1	8.8
障害の種類	無回答	29	13	8	4	12	5	4	3	7	2	4	5
		100.0	44.8	27.6	13.8	41.4	17.2	13.8	10.3	24.1	6.9	13.8	17.2

年齢との関係で見ると、18～29 歳では、「障害の特性に合った職業・雇用の拡大」、「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」、「障害理解を促進するための職場への働きかけ」が多くなっています。

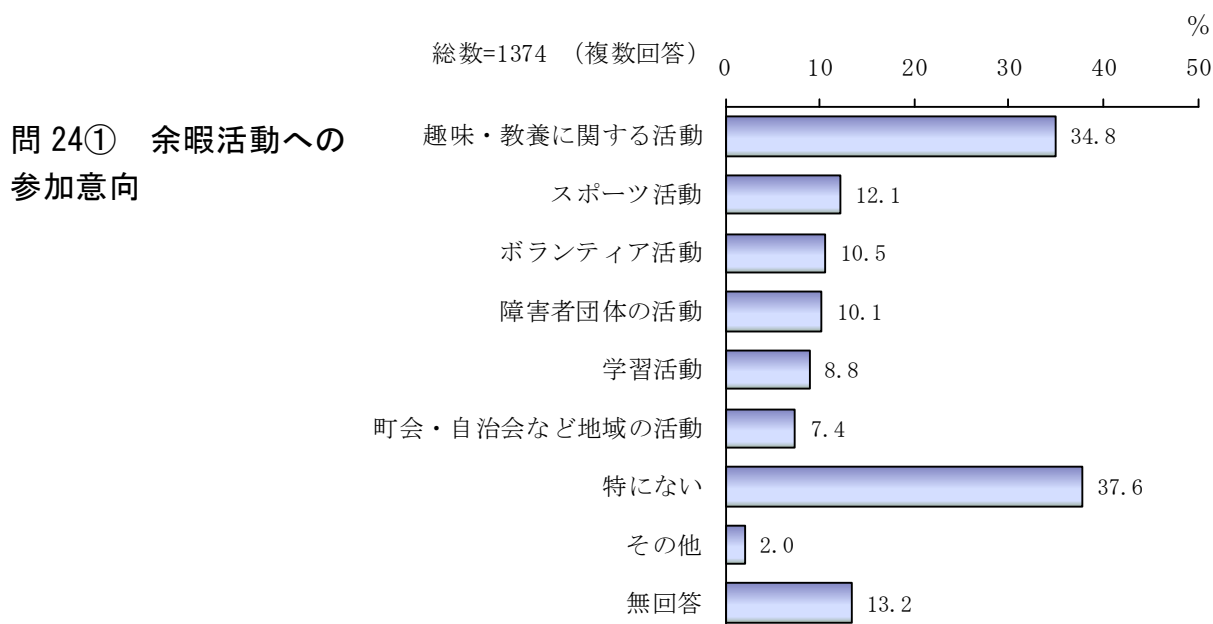
問 23② 一般就労のために必要なこと（年齢）

		全体	仕事探しから 総合的な相談支援	働くための知識や 能力を身につける ための職業訓練	職場を理解するための 就労体験	障害の特性に合った 職業・雇用の拡大	障害者向けの 求人情報の提供	障害理解を 促進するための 職場への働きかけ	職場施設の バリアフリー化	障害や病気の状態に 応じた柔軟な勤務体制	ジョブコーチなど 職場に定着する ための支援	特に必要なことはない	その他	無回答
	全体	1374 100.0	606 44.1	389 28.3	248 18.0	663 48.3	446 32.5	439 32.0	288 21.0	597 43.4	234 17.0	97 7.1	31 2.3	221 16.1
年齢	18～29歳	149 100.0	107 71.8	64 43.0	64 43.0	114 76.5	71 47.7	91 61.1	36 24.2	82 55.0	80 53.7	1 0.7	2 1.3	6 4.0
	30～39歳	140 100.0	82 58.6	62 44.3	34 24.3	76 54.3	54 38.6	58 41.4	27 19.3	81 57.9	38 27.1	1 0.7	4 2.9	6 4.3
	40～49歳	137 100.0	69 50.4	48 35.0	35 25.5	76 55.5	57 41.6	61 44.5	29 21.2	66 48.2	33 24.1	5 3.6	3 2.2	15 10.9
	50～59歳	135 100.0	61 45.2	37 27.4	27 20.0	72 53.3	52 38.5	46 34.1	31 23.0	61 45.2	22 16.3	14 10.4	3 2.2	10 7.4
	60～64歳	142 100.0	70 49.3	40 28.2	19 13.4	71 50.0	55 38.7	44 31.0	37 26.1	79 55.6	19 13.4	7 4.9	4 2.8	10 7.0

（５）余暇活動への参加意向

問 24 あなたは今後、次のような活動に取り組みたいと思いますか。すでに取り組んでいる方は、今後も取り組みたいかどうかをお答えください。（あてはまるものすべてに○）

「趣味・教養に関する活動」が 34.8%、「スポーツ活動」が 12.1%、「ボランティア活動」が 10.5%、「障害者団体の活動」が 10.1%となっています。



		全体	趣味・教養に関する活動	学習活動	スポーツ活動	ボランティア活動	障害者団体の活動	町会・自治会など地域の活動	特にない	その他	無回答
	全体	1374 100.0	478 34.8	121 8.8	166 12.1	144 10.5	139 10.1	101 7.4	517 37.6	27 2.0	182 13.2
障害の種類	身体障害	930 100.0	318 34.2	73 7.8	67 7.2	91 9.8	83 8.9	70 7.5	368 39.6	18 1.9	141 15.2
	知的障害	259 100.0	92 35.5	21 8.1	57 22.0	23 8.9	46 17.8	16 6.2	80 30.9	6 2.3	31 12.0
	精神障害	274 100.0	102 37.2	29 10.6	50 18.2	34 12.4	38 13.9	21 7.7	97 35.4	5 1.8	21 7.7
	無回答	29 100.0	9 31.0	4 13.8	4 13.8	3 10.3	1 3.4	2 6.9	12 41.4	-	6 20.7

年齢との関係で見ると、「趣味・教養に関する活動」以外では、18～39歳で「スポーツ活動」が多くなっています。

問 24② 余暇活動への参加意向（年齢）

		全体	趣味・教養に関する活動	学習活動	スポーツ活動	ボランティア活動	障害者団体の活動	町会・自治会など地域の活動	特にない	その他	無回答
	全体	1374 100.0	478 34.8	121 8.8	166 12.1	144 10.5	139 10.1	101 7.4	517 37.6	27 2.0	182 13.2
年齢	18～39歳	289 100.0	113 39.1	41 14.2	79 27.3	33 11.4	52 18.0	11 3.8	83 28.7	6 2.1	25 8.7
	40～64歳	414 100.0	166 40.1	41 9.9	49 11.8	60 14.5	46 11.1	39 9.4	155 37.4	5 1.2	40 9.7
	65歳以上	659 100.0	194 29.4	37 5.6	36 5.5	49 7.4	40 6.1	50 7.6	273 41.4	16 2.4	116 17.6
	無回答	12 100.0	5 41.7	2 16.7	2 16.7	2 16.7	1 8.3	1 8.3	6 50.0	-	1 8.3

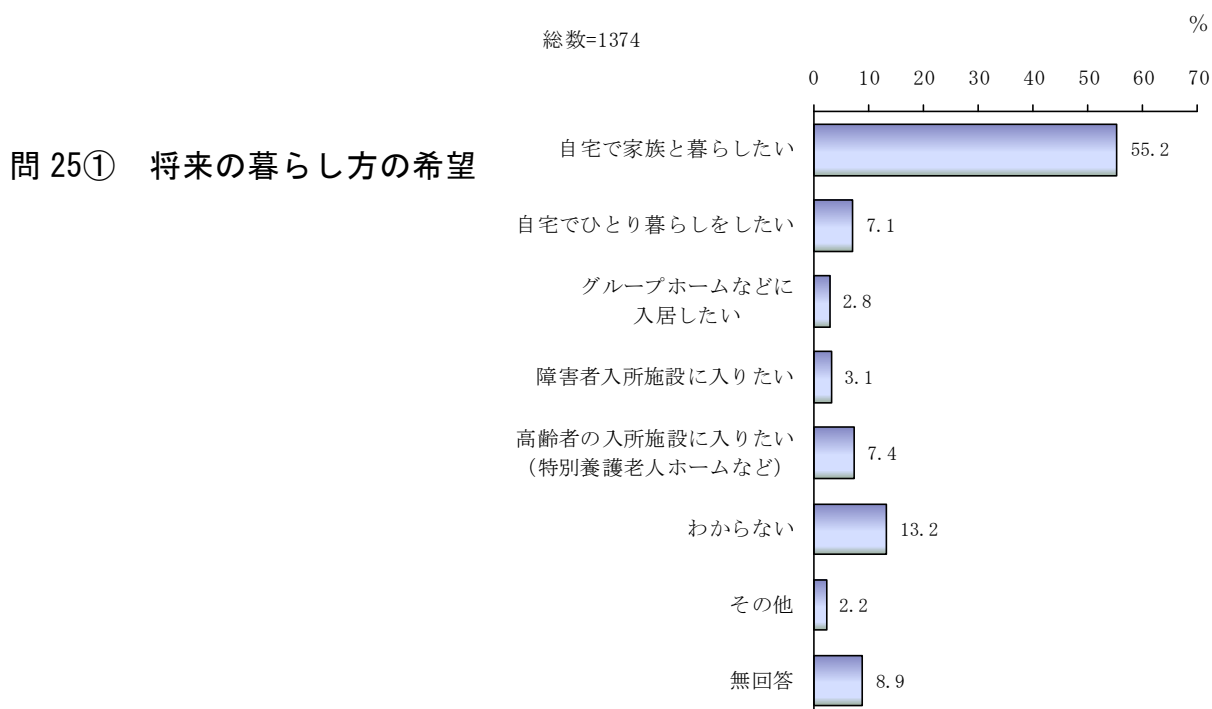
6 将来について

(1) 将来の暮らし方の希望

問 25 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(最もあてはまるものひとつに○)

全体では、「自宅で家族と暮らしたい」が 55.2%、「高齢者の入所施設に入りたい(特別養護老人ホームなど)」が 7.4%、「自宅でひとり暮らしをしたい」が 7.1% となっています。

障害種別ごとに見ると、「自宅で家族と暮らしたい」以外では、知的障害のある方で「グループホームなどに入居したい」が多くなっています。



問 25① 将来の暮らし方の希望

		全体	自宅で家族と暮らしたい	自宅でひとり暮らしをしたい	グループホームなどに入居したい	障害者入所施設に入りたい	高齢者の入所施設に入りたい (特別養護老人ホームなど)	わからない	その他	無回答
	全体	1374	759	98	39	43	101	182	30	122
		100.0	55.2	7.1	2.8	3.1	7.4	13.2	2.2	8.9
障害の種類	身体障害	930	539	62	4	26	84	108	21	86
		100.0	58.0	6.7	0.4	2.8	9.0	11.6	2.3	9.2
	知的障害	259	111	19	30	22	7	35	7	28
		100.0	42.9	7.3	11.6	8.5	2.7	13.5	2.7	10.8
	精神障害	274	138	24	8	9	15	55	5	20
		100.0	50.4	8.8	2.9	3.3	5.5	20.1	1.8	7.3
	無回答	29	19	3	-	-	1	4	-	2
		100.0	65.5	10.3	-	-	3.4	13.8	-	6.9

年齢との関係で見ると、「自宅で家族と暮らしたい」以外では、18～39 歳で「グループホームなどに入居したい」、65 歳以上で「高齢者の入所施設に入りたい（特別養護老人ホームなど）」が多くなっています。

問 25② 将来の暮らし方の希望（年齢）

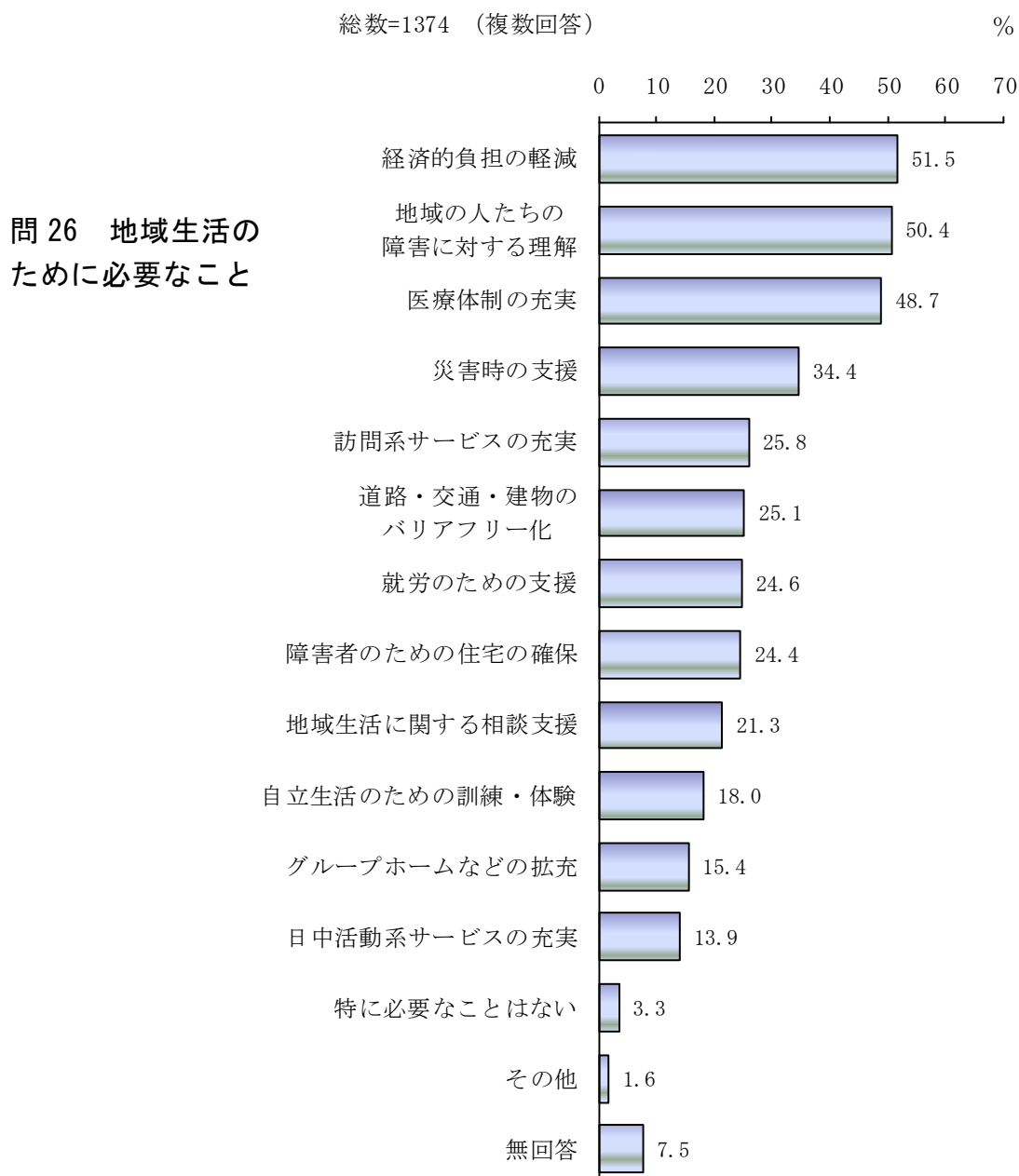
		全 体	自 宅 で 家 族 と 暮 ら し た い	自 宅 で ひ と り 暮 ら し た い	グ ル ー プ ホ ー ム な ど に 入 居 し た い	障 害 者 入 所 施 設 に 入 り た い	に 入 り た い （ 高 齢 者 の 入 所 施 設 老 人 ホ ー ム な ど ）	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
全体		1374 100.0	759 55.2	98 7.1	39 2.8	43 3.1	101 7.4	182 13.2	30 2.2	122 8.9
年 齢	18～39歳	289 100.0	141 48.8	21 7.3	30 10.4	22 7.6	3 1.0	47 16.3	9 3.1	16 5.5
	40～64歳	414 100.0	232 56.0	41 9.9	7 1.7	11 2.7	24 5.8	64 15.5	6 1.4	29 7.0
	65歳以上	659 100.0	376 57.1	35 5.3	2 0.3	10 1.5	74 11.2	70 10.6	15 2.3	77 11.7
	無回答	12 100.0	10 83.3	1 8.3	— —	— —	— —	1 8.3	— —	— —

（２）地域生活のために必要なこと

問 26 あなたは、障害のある人が地域で生活していくためには何が必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

全体では、「経済的負担の軽減」が 51.5%、「地域の人たちの障害に対する理解」が 50.4%、「医療体制の充実」が 48.7%、「災害時の支援」が 34.4%となっています。

障害種別ごとに見ると、知的障害のある方では、「地域の人たちの障害に対する理解」、「グループホームなどの拡充」、「日中活動系サービスの充実」が、他より多くなっています。



		全体	地域の人のための 障害に対する理解	地域生活に関する 相談支援	訪問系サービスの充実	日中活動系サービスの 充実	自立生活のための 訓練・体験	グループホームなどの 拡充	障害者のための 住宅の確保
	全体	1374 100.0	693 50.4	292 21.3	354 25.8	191 13.9	247 18.0	211 15.4	335 24.4
障害の 種類	身体障害	930 100.0	427 45.9	170 18.3	249 26.8	104 11.2	131 14.1	98 10.5	202 21.7
	知的障害	259 100.0	174 67.2	71 27.4	68 26.3	74 28.6	63 24.3	91 35.1	83 32.0
	精神障害	274 100.0	154 56.2	79 28.8	70 25.5	46 16.8	75 27.4	51 18.6	83 30.3
	無回答	29 100.0	13 44.8	7 24.1	7 24.1	2 6.9	6 20.7	4 13.8	2 6.9

		医療体制の 充実	就労のための 支援	災害時の 支援	道路・交通・建物の バリアフリー化	経済的負担の 軽減	特に必要なことは ない	その他	無回答
	全体	669 48.7	338 24.6	473 34.4	345 25.1	707 51.5	46 3.3	22 1.6	103 7.5
障害の 種類	身体障害	467 50.2	158 17.0	331 35.6	270 29.0	447 48.1	34 3.7	13 1.4	78 8.4
	知的障害	103 39.8	93 35.9	101 39.0	48 18.5	159 61.4	8 3.1	9 3.5	15 5.8
	精神障害	143 52.2	115 42.0	87 31.8	50 18.2	163 59.5	5 1.8	3 1.1	16 5.8
	無回答	12 41.4	6 20.7	6 20.7	7 24.1	13 44.8	2 6.9	－	3 10.3

7 サービスの利用について

(1) 訪問系サービスの利用状況・利用意向

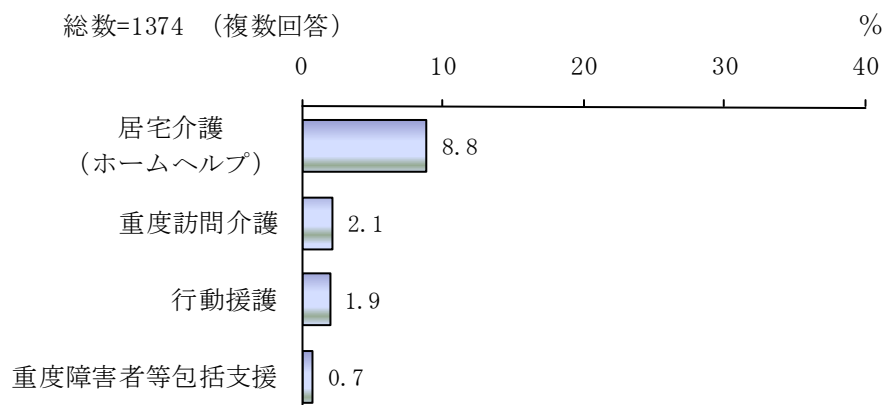
問 27 あなたは、次のような訪問系サービスを利用していますか。また、今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

利用しているサービスについて見ると、全体では、「居宅介護（ホームヘルプ）」が8.8%、「重度訪問介護」が2.1%、「行動援護」が1.9%となっています。

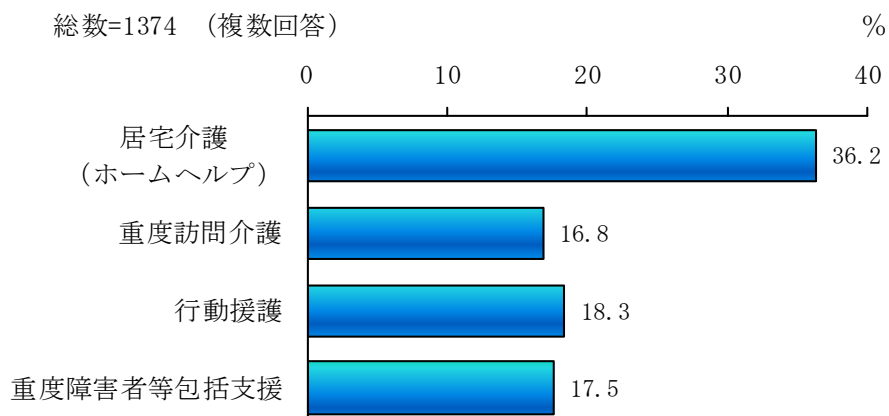
利用したいサービスについて見ると、全体では、「居宅介護（ホームヘルプ）」が36.2%、「行動援護」が18.3%、「重度障害者等包括支援」が17.5%、「重度訪問介護」が16.8%となっています。

問 27 訪問系サービスの利用状況・利用意向

《利用状況》



《利用意向》



障害種別ごとに見ると、利用しているサービス、利用したいサービスともに、知的障害のある方では「行動援護」が多くなっています。

《利用状況》

		全体	(ホームヘルプ 居宅介護)	重度訪問介護	行動援護	重度障害者等 包括支援	無回答
	全体	1374 100.0	121 8.8	29 2.1	26 1.9	10 0.7	1228 89.4
障害の種類	身体障害	930 100.0	103 11.1	28 3.0	10 1.1	9 1.0	813 87.4
	知的障害	259 100.0	14 5.4	1 0.4	21 8.1	1 0.4	229 88.4
	精神障害	274 100.0	12 4.4	3 1.1	4 1.5	3 1.1	261 95.3
	無回答	29 100.0	3 10.3	- -	- -	- -	26 89.7

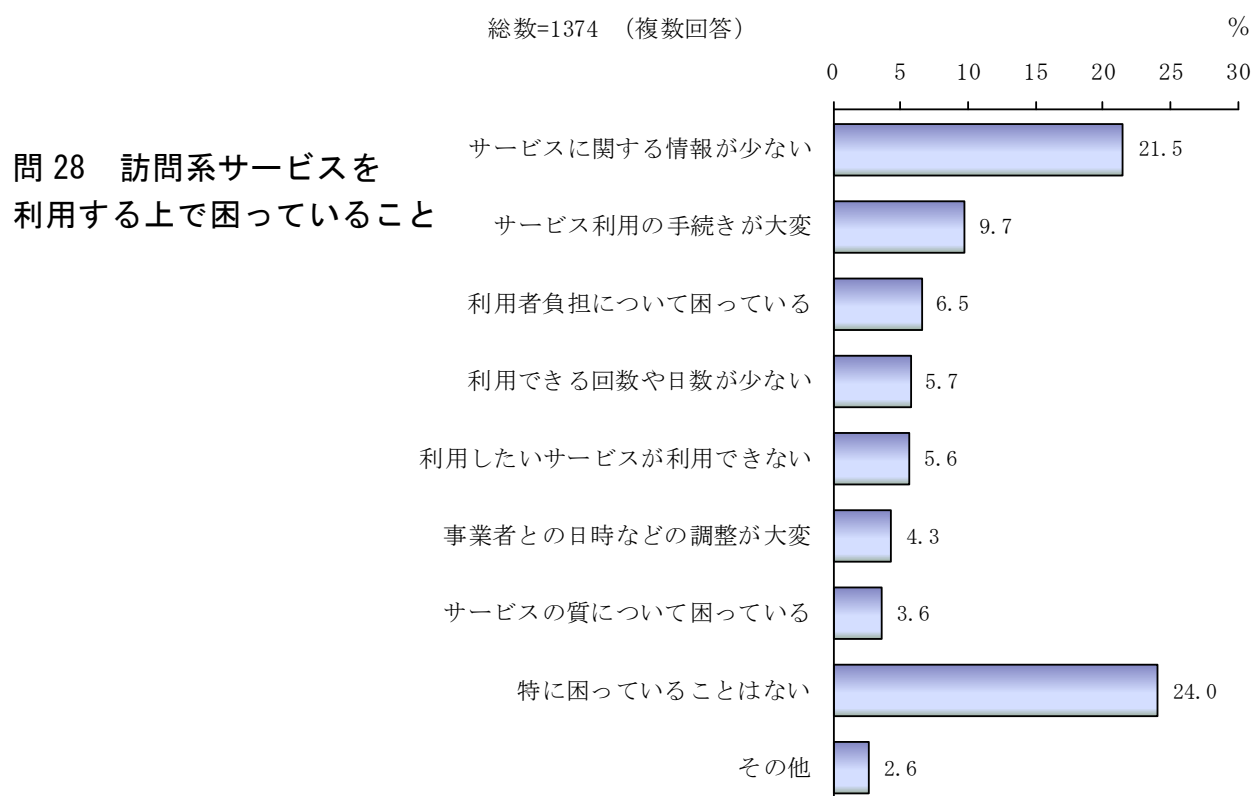
《利用意向》

		全体	(ホームヘルプ 居宅介護)	重度訪問介護	行動援護	重度障害者等 包括支援	無回答
	全体	1374 100.0	498 36.2	231 16.8	252 18.3	241 17.5	746 54.3
障害の種類	身体障害	930 100.0	372 40.0	185 19.9	130 14.0	178 19.1	489 52.6
	知的障害	259 100.0	77 29.7	27 10.4	84 32.4	52 20.1	133 51.4
	精神障害	274 100.0	78 28.5	30 10.9	61 22.3	37 13.5	162 59.1
	無回答	29 100.0	13 44.8	7 24.1	8 27.6	7 24.1	16 55.2

(2) 訪問系サービスを利用する上で困っていること

問 28 あなたには、訪問系サービスの利用に関して困っていることがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

「サービスに関する情報が少ない」が 21.5%、「サービス利用の手続きが大変」が 9.7%となっています。



	全体	サービスに関する情報が少ない	利用したいサービスが利用できない	サービス利用の手続きが大変	事業者との日時などの調整が大変	利用できる回数や日数が少ない	サービスの質について困っている	利用者負担について困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	1374 100.0	295 21.5	77 5.6	133 9.7	59 4.3	78 5.7	49 3.6	89 6.5	330 24.0	36 2.6	590 42.9
障害の種類	身体障害	930 100.0	205 22.0	58 6.2	91 9.8	37 4.0	56 6.0	34 3.7	59 6.3	222 23.9	390 41.9
	知的障害	259 100.0	59 22.8	18 6.9	35 13.5	25 9.7	24 9.3	12 4.6	20 7.7	53 20.5	113 43.6
	精神障害	274 100.0	58 21.2	8 2.9	24 8.8	11 4.0	11 4.0	9 3.3	19 6.9	71 25.9	117 42.7
	無回答	29 100.0	4 13.8	1 3.4	2 6.9	-	-	1 3.4	-	4 13.8	18 62.1

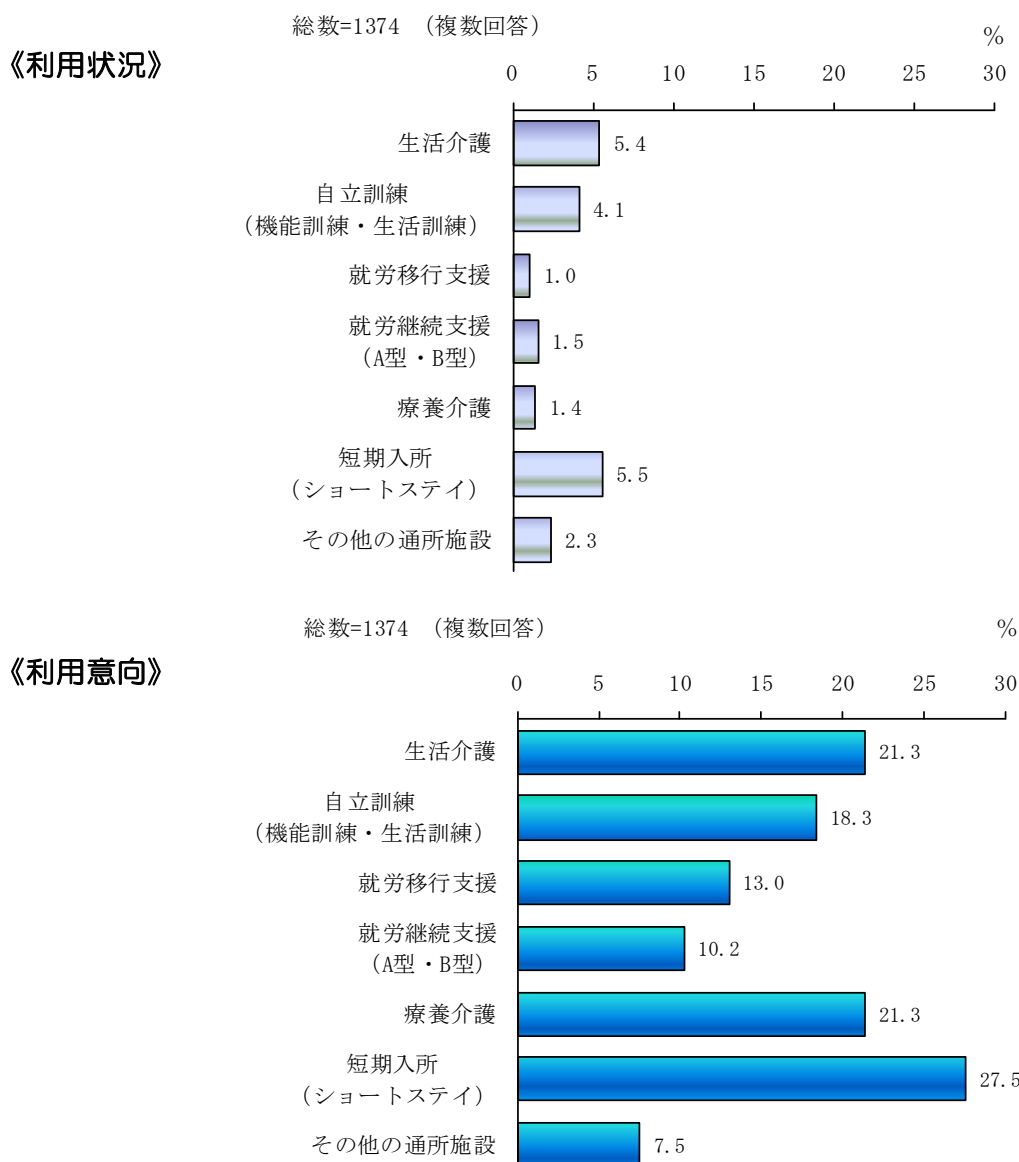
(3) 日中活動系サービスの利用状況・利用意向

問 29 あなたは、次のような日中活動系サービスを利用していますか。また、今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

利用しているサービスについて見ると、全体では、「短期入所（ショートステイ）」が 5.5%、「生活介護」が 5.4%、「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」が 4.1%となっています。

利用したいサービスについて見ると、全体では、「短期入所（ショートステイ）」が 27.5%、「生活介護」、「療養介護」がそれぞれ 21.3%、「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」が 18.3%となっています。

問 29 日中活動系サービスの利用状況・利用意向



障害種別ごとに見ると、利用状況については、知的障害のある方で「短期入所（ショートステイ）」、「生活介護」が、他より多くなっています。利用意向については、精神障害のある方で、「就労移行支援」が多くなっています。

《利用状況》

		全体	生活介護	自立訓練（機能訓練・生活訓練）	就労移行支援	就労継続支援（A型・B型）	療養介護	（ショートステイ）短期入所	その他の通所施設	無回答
	全体	1374 100.0	74 5.4	56 4.1	14 1.0	21 1.5	19 1.4	76 5.5	32 2.3	1182 86.0
障害の種類	身体障害	930 100.0	47 5.1	33 3.5	2 0.2	5 0.5	14 1.5	44 4.7	8 0.9	824 88.6
	知的障害	259 100.0	37 14.3	19 7.3	11 4.2	17 6.6	1 0.4	49 18.9	26 10.0	157 60.6
	精神障害	274 100.0	8 2.9	12 4.4	4 1.5	5 1.8	5 1.8	9 3.3	8 2.9	243 88.7
	無回答	29 100.0	2 6.9	—	—	—	—	—	—	27 93.1

《利用意向》

		全体	生活介護	自立訓練（機能訓練・生活訓練）	就労移行支援	就労継続支援（A型・B型）	療養介護	（ショートステイ）短期入所	その他の通所施設	無回答
	全体	1374 100.0	293 21.3	252 18.3	178 13.0	140 10.2	293 21.3	378 27.5	103 7.5	727 52.9
障害の種類	身体障害	930 100.0	215 23.1	163 17.5	89 9.6	69 7.4	231 24.8	263 28.3	59 6.3	492 52.9
	知的障害	259 100.0	48 18.5	50 19.3	38 14.7	46 17.8	27 10.4	86 33.2	28 10.8	117 45.2
	精神障害	274 100.0	52 19.0	62 22.6	65 23.7	38 13.9	49 17.9	58 21.2	28 10.2	145 52.9
	無回答	29 100.0	9 31.0	10 34.5	8 27.6	6 20.7	9 31.0	10 34.5	3 10.3	16 55.2

（４）日中活動系サービスを利用する上で困っていること

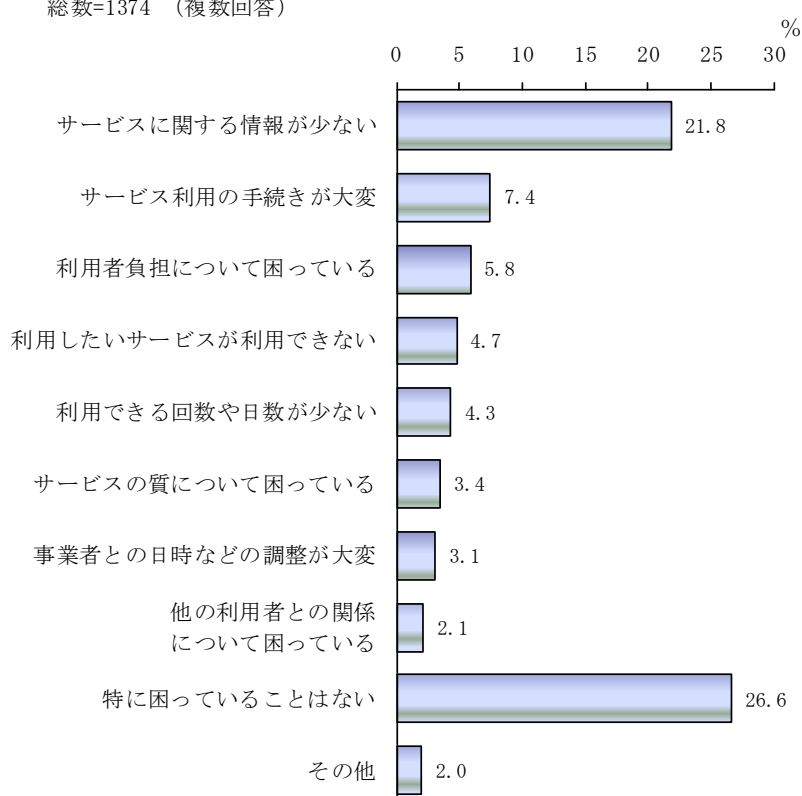
問 30 あなたには、日中活動系サービスの利用に関して困っていることがありますか。（あてはまるものすべてに○）

全体では、「サービスに関する情報が少ない」が 21.8%、「サービス利用の手続きが大変」が 7.4%、「利用者負担について困っている」が 5.8%となっています。

障害種別ごとに見ると、「サービスに関する情報が少ない」以外では、知的障害のある方で、「サービス利用の手続きが大変」が多くなっています。

総数=1374 （複数回答）

問 30 日中活動系サービスを利用する上で困っていること



	全体	サービスに関する情報が少ない	利用したいサービスが利用できない	サービス利用の手続きが大変	事業者との日時などの調整が大変	利用できる回数や日数が少ない	サービスの質について困っている	他の利用者との関係について困っている	利用者負担について困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全体	1374 100.0	299 21.8	65 4.7	102 7.4	42 3.1	59 4.3	47 3.4	29 2.1	80 5.8	365 26.6	27 2.0	559 40.7
障害の種類												
身体障害	930 100.0	200 21.5	43 4.6	59 6.3	26 2.8	44 4.7	29 3.1	8 0.9	48 5.2	243 26.1	16 1.7	395 42.5
知的障害	259 100.0	62 23.9	19 7.3	38 14.7	15 5.8	19 7.3	14 5.4	16 6.2	23 8.9	66 25.5	11 4.2	77 29.7
精神障害	274 100.0	63 23.0	14 5.1	25 9.1	9 3.3	10 3.6	11 4.0	11 4.0	24 8.8	73 26.6	3 1.1	103 37.6
無回答	29 100.0	4 13.8	-	-	1 3.4	1 3.4	1 3.4	-	-	8 27.6	-	15 51.7

（５）居住系サービスの利用状況・利用意向

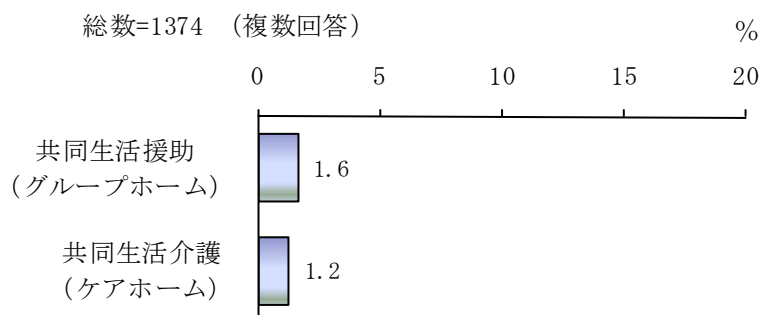
問 31 あなたは、次のような居住系サービスを利用していますか。また、今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

利用しているサービスについて見ると、「共同生活援助（グループホーム）」が 1.6%、「共同生活介護（ケアホーム）」が 1.2%となっています。

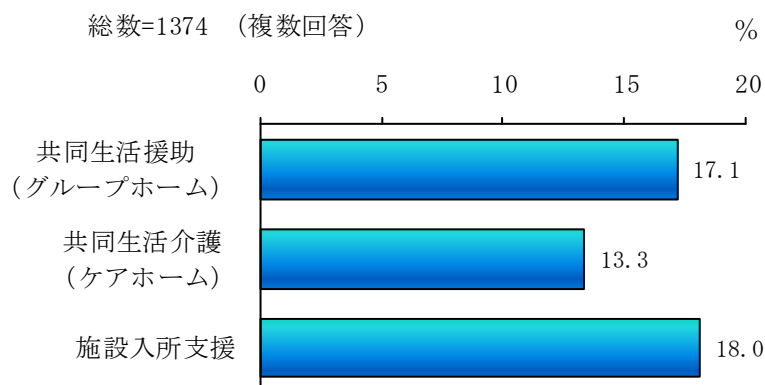
利用したいサービスについて見ると、「施設入所支援」が 18.0%、「共同生活援助（グループホーム）」が 17.1%、「共同生活介護（ケアホーム）」が 13.3%となっています。

問 31 居住系サービスの利用状況・利用意向

《利用状況》



《利用意向》



障害種別ごとに見ると、利用意向については、いずれのサービスも知的障害のある方で多くなっています。

《利用状況》

		全体	(グループホーム) 共同生活援助	(ケアホーム) 共同生活介護	無回答
全体		1374 100.0	22 1.6	17 1.2	1340 97.5
障害の種類	身体障害	930 100.0	13 1.4	9 1.0	911 98.0
	知的障害	259 100.0	8 3.1	9 3.5	244 94.2
	精神障害	274 100.0	6 2.2	2 0.7	267 97.4
	無回答	29 100.0	- -	- -	29 100.0

《利用意向》

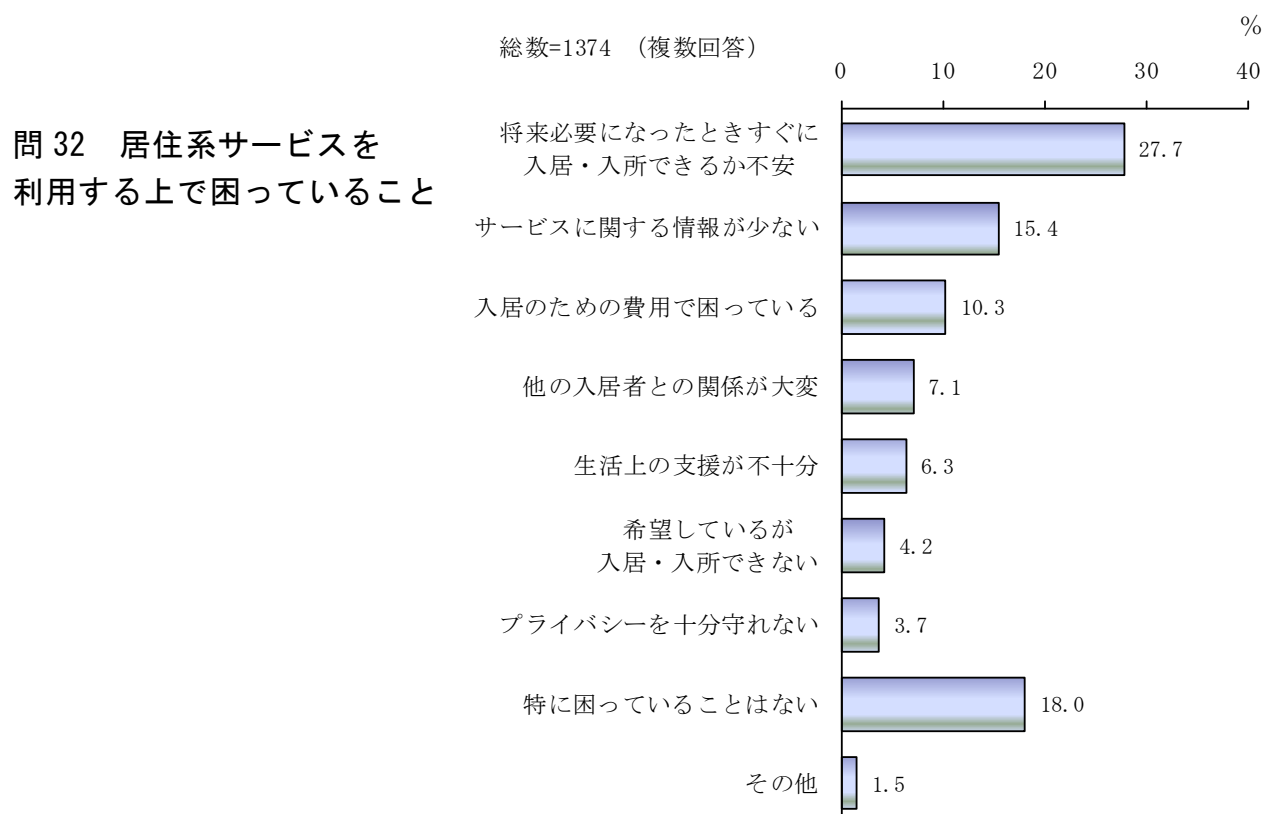
		全体	(グループホーム) 共同生活援助	(ケアホーム) 共同生活介護	施設入所支援	無回答
全体		1374 100.0	235 17.1	183 13.3	248 18.0	947 68.9
障害の種類	身体障害	930 100.0	112 12.0	102 11.0	175 18.8	675 72.6
	知的障害	259 100.0	81 31.3	70 27.0	65 25.1	114 44.0
	精神障害	274 100.0	64 23.4	40 14.6	40 14.6	188 68.6
	無回答	29 100.0	6 20.7	4 13.8	6 20.7	20 69.0

（６）居住系サービスを利用する上で困っていること

問 32 あなたには、居住系サービスの利用に関して困っていることがありますか。
（あてはまるものすべてに○）

全体では、「将来必要になったときすぐに入居・入所できるか不安」が 27.7%、「サービスに関する情報が少ない」が 15.4%、「入居のための費用で困っている」が 10.3%となっています。

障害種別ごとに見ると、知的障害のある方では、「将来必要になったときすぐに入居・入所できるか不安」が、他より多くなっています。



		全体	サービスに関する情報が少ない	入居・希望しているが入所できない	将来必要になったときすぐに入居・入所できるか不安	生活上の支援が不十分	プライバシーを十分守れない	他の入居者との関係が大変	費用で入居のための費用で困っている	特に困っていることはない	その他	無回答
全体		1374	212	58	381	87	51	97	141	248	21	586
		100.0	15.4	4.2	27.7	6.3	3.7	7.1	10.3	18.0	1.5	42.6
障害の種類	身体障害	930	137	37	239	46	30	49	88	168	15	410
		100.0	14.7	4.0	25.7	4.9	3.2	5.3	9.5	18.1	1.6	44.1
	知的障害	259	48	22	116	30	11	31	36	32	5	88
		100.0	18.5	8.5	44.8	11.6	4.2	12.0	13.9	12.4	1.9	34.0
障害の種類	精神障害	274	50	11	73	26	17	26	23	55	3	111
		100.0	18.2	4.0	26.6	9.5	6.2	9.5	8.4	20.1	1.1	40.5
障害の種類	無回答	29	2	-	7	1	2	2	2	7	-	14
		100.0	6.9	-	24.1	3.4	6.9	6.9	6.9	24.1	-	48.3

（７）地域生活支援事業の利用状況・利用意向

問 33 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また、今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

利用している地域生活支援事業について見ると、全体では、「日常生活用具給付等事業」が 4.1%、「移動支援事業」が 4.0%、「日中一時支援事業」が 3.2%、「相談支援事業」3.0%となっています。

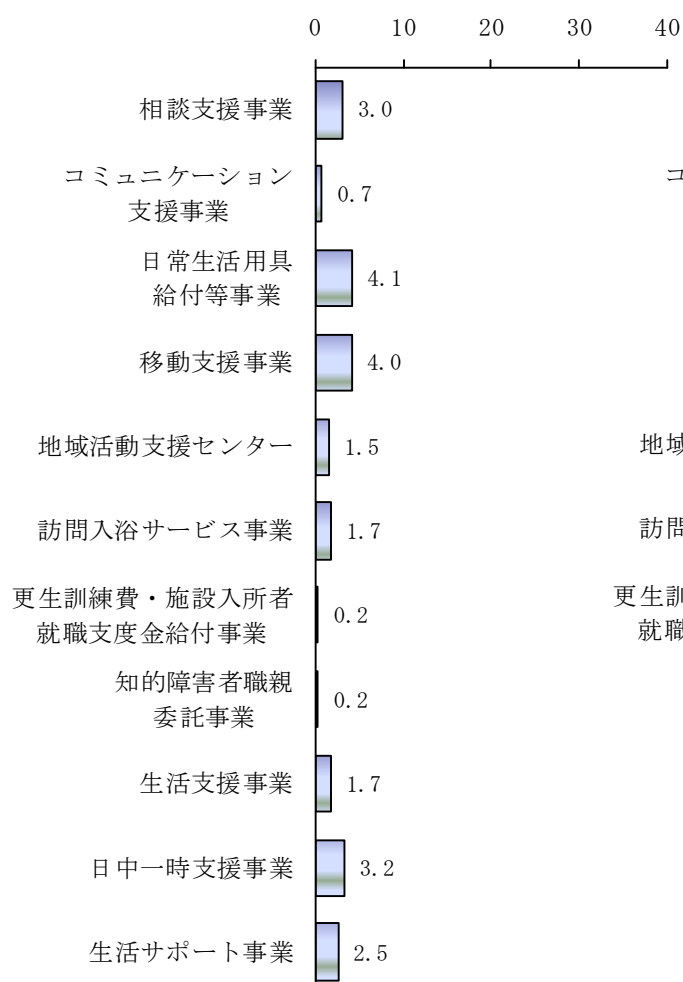
利用したい地域生活支援事業についてみると、「相談支援事業」が 31.8%、「生活サポート事業」が 27.6%、「移動支援事業」が 23.0%、「日中一時支援事業」が 20.5%となっています。

問 33 地域生活支援事業の利用状況・利用意向

《利用状況》

総数=1374 （複数回答）

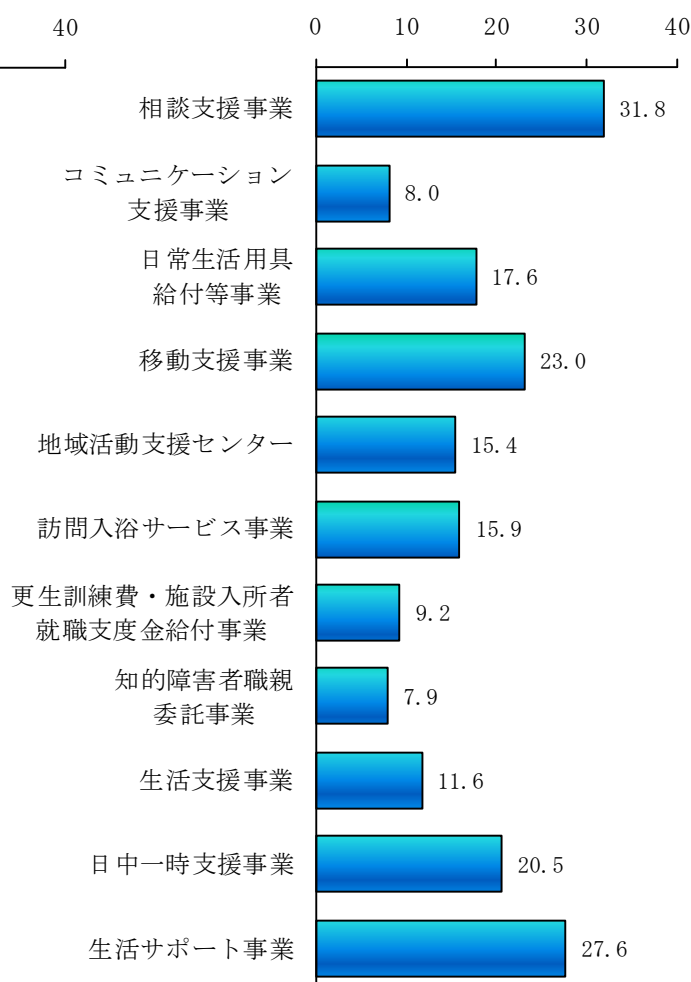
%



《利用意向》

総数=1374 （複数回答）

%



障害種別ごとに見ると、利用状況については、知的障害のある方で「日中一時支援事業」、「移動支援事業」が多くなっています。

《利用状況》

		全体	相談支援事業	コミュニケーション支援事業	日常生活用具給付等事業	移動支援事業	地域活動支援センター	訪問入浴サービス事業	更生訓練費・施設入所者就職支度金給付事業	知的障害障害者職親委託事業	生活支援事業	日中一時支援事業	生活サポート事業	無回答
	全体	1374 100.0	41 3.0	9 0.7	56 4.1	55 4.0	20 1.5	23 1.7	3 0.2	3 0.2	23 1.7	44 3.2	34 2.5	1182 86.0
障害の種類	身体障害	930 100.0	25 2.7	8 0.9	55 5.9	32 3.4	9 1.0	21 2.3	1 0.1	-	4 0.4	16 1.7	32 3.4	801 86.1
	知的障害	259 100.0	13 5.0	-	8 3.1	32 12.4	9 3.5	1 0.4	1 0.4	2 0.8	19 7.3	34 13.1	1 0.4	190 73.4
	精神障害	274 100.0	6 2.2	1 0.4	6 2.2	6 2.2	8 2.9	4 1.5	1 0.4	2 0.7	7 2.6	5 1.8	5 1.8	248 90.5
	無回答	29 100.0	1 3.4	-	-	1 3.4	-	-	-	-	1 3.4	2 6.9	-	26 89.7

《利用意向》

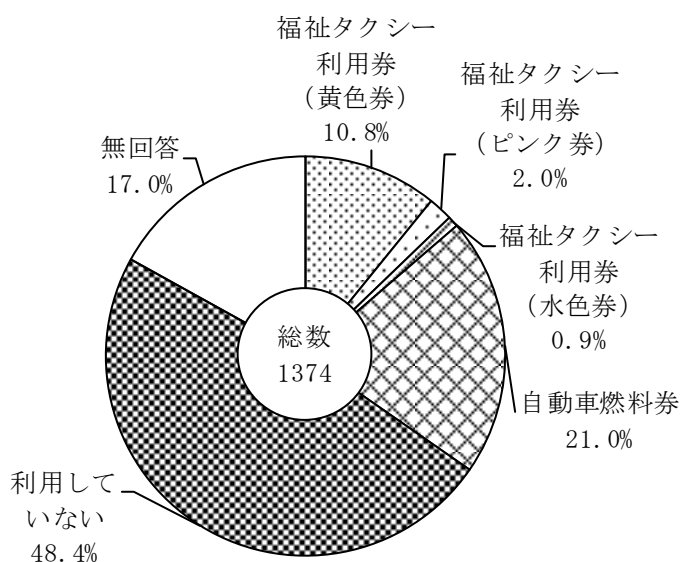
		全体	相談支援事業	コミュニケーション支援事業	日常生活用具給付等事業	移動支援事業	地域活動支援センター	訪問入浴サービス事業	更生訓練費・施設入所者就職支度金給付事業	知的障害障害者職親委託事業	生活支援事業	日中一時支援事業	生活サポート事業	無回答
	全体	1374 100.0	437 31.8	110 8.0	242 17.6	316 23.0	211 15.4	218 15.9	127 9.2	108 7.9	160 11.6	282 20.5	379 27.6	643 46.8
障害の種類	身体障害	930 100.0	281 30.2	73 7.8	198 21.3	239 25.7	121 13.0	177 19.0	67 7.2	46 4.9	63 6.8	187 20.1	271 29.1	432 46.5
	知的障害	259 100.0	99 38.2	14 5.4	24 9.3	63 24.3	59 22.8	24 9.3	27 10.4	43 16.6	77 29.7	63 24.3	63 24.3	103 39.8
	精神障害	274 100.0	101 36.9	27 9.9	38 13.9	43 15.7	52 19.0	34 12.4	41 15.0	31 11.3	38 13.9	55 20.1	69 25.2	131 47.8
	無回答	29 100.0	9 31.0	4 13.8	5 17.2	6 20.7	5 17.2	6 20.7	4 13.8	5 17.2	7 24.1	8 27.6	8 27.6	16 55.2

（８）福祉タクシー利用券・自動車燃料費助成の利用状況

問 34 あなたは、福祉タクシー利用券や自動車燃料券を利用していますか。利用している方は、その種類（券の色）もお答えください。（あてはまるものひとつに○）

「自動車燃料券」が 21.0%、「福祉タクシー利用券（黄色券）」が 10.8%、「福祉タクシー利用券（ピンク券）」が 2.0%、「福祉タクシー利用券（水色券）」が 0.9%となっています。

問 34 福祉タクシー利用券・自動車燃料費助成の利用状況



		全体	福祉 タクシー 利用券 （黄色券）	福祉 タクシー 利用券 （ピンク券）	福祉 タクシー 利用券 （水色券）	自動車 燃料券	利用 してい ない	無 回 答
全体		1374 100.0	149 10.8	27 2.0	12 0.9	288 21.0	665 48.4	233 17.0
障害 の 種 類	身体障害	930 100.0	135 14.5	26 2.8	12 1.3	240 25.8	376 40.4	141 15.2
	知的障害	259 100.0	17 6.6	1 0.4	— —	71 27.4	128 49.4	42 16.2
	精神障害	274 100.0	7 2.6	3 1.1	3 1.1	19 6.9	180 65.7	62 22.6
	無回答	29 100.0	1 3.4	— —	— —	2 6.9	21 72.4	5 17.2

（９）福祉タクシー利用券・自動車燃料費助成の利用目的

問 35 問 34 でいずれかの券を利用している（１～４番）と回答した方にお聞きします。 タクシー券・自動車燃料券の主な使い道は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

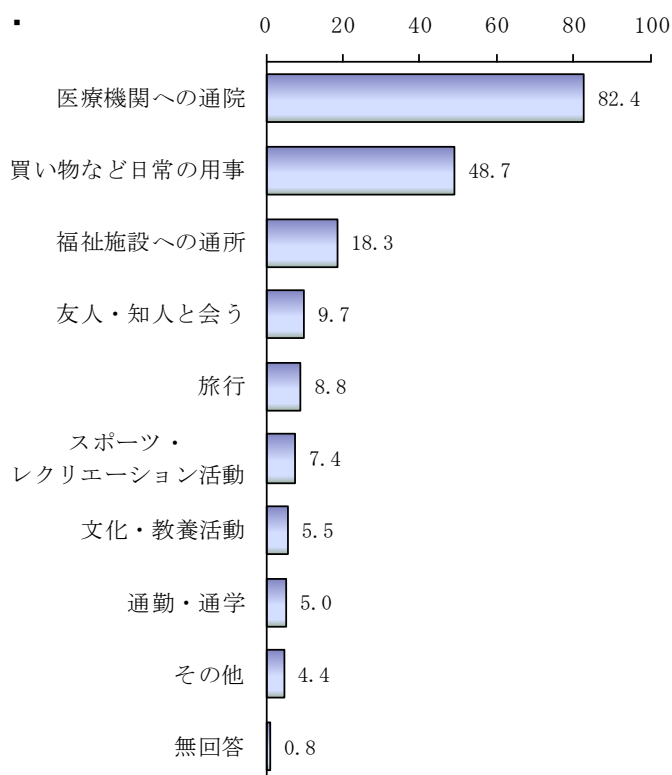
全体では、「医療機関への通院」が82.4%、「買い物など日常の用事」が48.7%、「福祉施設への通所」が18.3%となっています。

障害種別ごとに見ると、「医療機関への通院」以外では、知的障害のある方で「福祉施設への通所」が多くなっています。

総数=476 （複数回答）

%

問 35① 福祉タクシー利用券・ 自動車燃料費助成の利用目的



		全体	通勤・通学	福祉施設への通所	医療機関への通院	買い物など日常の用事	文化・教養活動	レクリエーション・スポーツ活動	旅行	友人・知人と会う	その他	無回答
全体		476 100.0	24 5.0	87 18.3	392 82.4	232 48.7	26 5.5	35 7.4	42 8.8	46 9.7	21 4.4	4 0.8
障害の種類	身体障害	413 100.0	20 4.8	57 13.8	344 83.3	202 48.9	21 5.1	25 6.1	29 7.0	43 10.4	16 3.9	3 0.7
	知的障害	89 100.0	5 5.6	52 58.4	66 74.2	46 51.7	7 7.9	13 14.6	16 18.0	4 4.5	5 5.6	1 1.1
	精神障害	32 100.0	1 3.1	9 28.1	27 84.4	12 37.5	-	2 6.3	2 6.3	2 6.3	3 9.4	-
	無回答	3 100.0	-	1 33.3	2 66.7	1 33.3	-	-	1 33.3	-	-	-

利用している券の種類との関係で見ると、「医療機関への通院」以外では、自動車燃料券で、「買い物など日常の用事」が多くなっています。

問 35② 福祉タクシー利用券・自動車燃料費助成の利用目的（券の種類）

		全 体	通 勤・ 通 学	福 祉 施 設 へ の 通 所	医 療 機 関 へ の 通 院	買 い 物 な ど 日 常 の 用 事	文 化・ 教 養 活 動	レ ク リ エ ー シ ョ ン 活 動 ・ ス ポ ー ツ	旅 行	友 人・ 知 人 と 会 う	そ の 他	無 回 答
	全体	476 100.0	24 5.0	87 18.3	392 82.4	232 48.7	26 5.5	35 7.4	42 8.8	46 9.7	21 4.4	4 0.8
券 の 種 類	福祉タクシー利用券 （黄色券）	149 100.0	4 2.7	11 7.4	120 80.5	49 32.9	6 4.0	5 3.4	5 3.4	9 6.0	12 8.1	3 2.0
	福祉タクシー利用券 （ピンク券）	27 100.0	-	3 11.1	25 92.6	6 22.2	-	-	-	-	2 7.4	-
	福祉タクシー利用券 （水色券）	12 100.0	-	2 16.7	10 83.3	-	-	-	-	-	1 8.3	-
	自動車燃料券	288 100.0	20 6.9	71 24.7	237 82.3	177 61.5	20 6.9	30 10.4	37 12.8	37 12.8	6 2.1	1 0.3

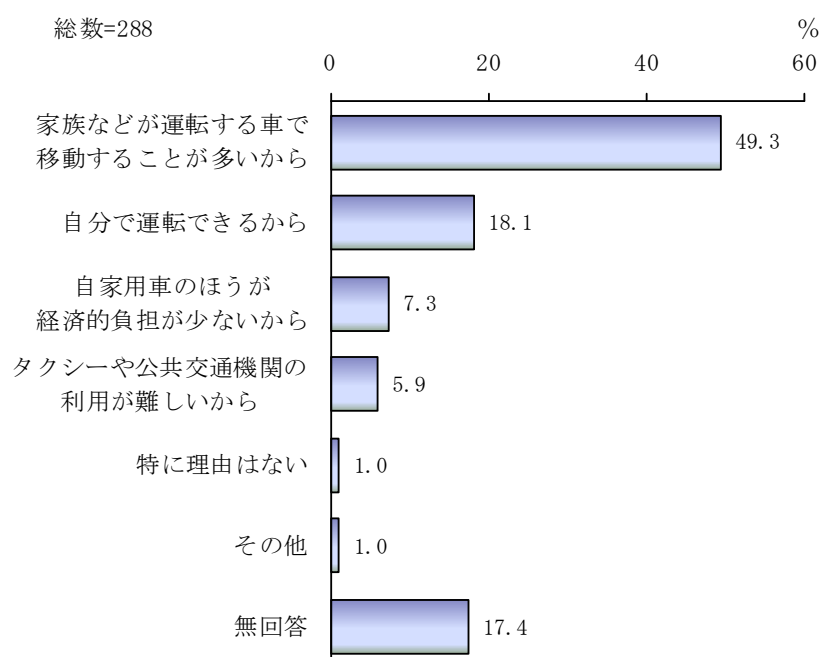
(10) 自動車燃料券を選んでいる理由

問 36 問 34 で自動車燃料券を利用している（4番）と回答した方にお聞きします。

福祉タクシー利用券ではなく、自動車燃料券を選んでいる理由は何ですか。（最もあてはまるものひとつに○）

「家族などが運転する車で移動することが多いから」が 49.3%、「自分で運転できるから」が 18.1%となっています。

問 36 自動車燃料券を選んでいる理由



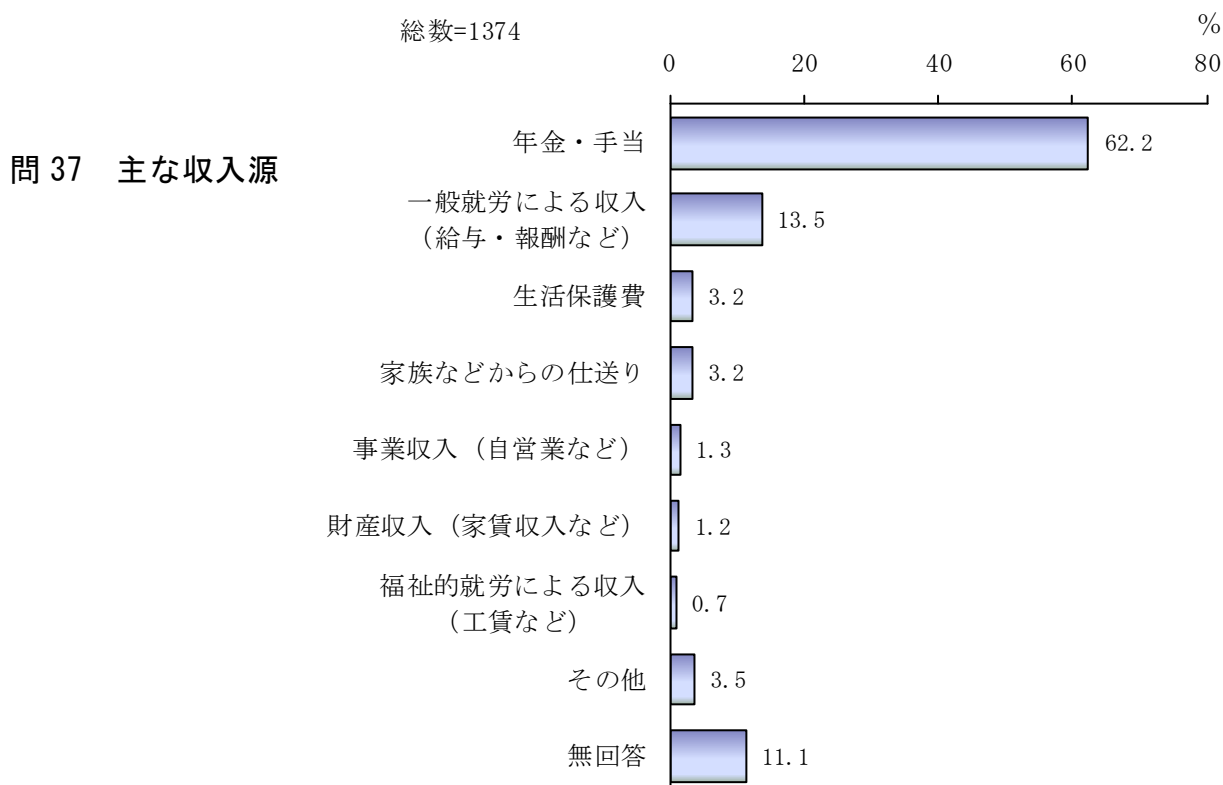
		全体	自分で運転できるから	家族などが運転することが多いから	タクシーや公共交通機関の利用が難しいから	自家用車のほうが経済的負担が少ないから	特に理由はない	その他	無回答
	全体	288 100.0	52 18.1	142 49.3	17 5.9	21 7.3	3 1.0	3 1.0	50 17.4
障害の種類	身体障害	240 100.0	52 21.7	117 48.8	12 5.0	19 7.9	3 1.3	2 0.8	35 14.6
	知的障害	71 100.0	-	43 60.6	5 7.0	4 5.6	-	1 1.4	18 25.4
	精神障害	19 100.0	1 5.3	9 47.4	1 5.3	2 10.5	-	-	6 31.6
	無回答	2 100.0	-	1 50.0	-	-	-	-	1 50.0

8 収入や利用者負担について

(1) 主な収入源

問 37 あなたご本人の主な収入源は何ですか。最も金額の多い収入源をひとつお答えください。(あてはまるものひとつに○)

「年金・手当」が62.2%、「一般就労による収入（給与・報酬など）」が13.5%となっています。



		全体	一般就労による収入 (給与・報酬など)	福祉的就労による収入 (工賃など)	事業収入 (自営業など)	財産収入 (家賃収入など)	年金・手当	生活保護費	家族などからの仕送り	その他	無回答
全体		1374 100.0	185 13.5	10 0.7	18 1.3	17 1.2	855 62.2	44 3.2	44 3.2	48 3.5	153 11.1
障害の種類	身体障害	930 100.0	87 9.4	1 0.1	16 1.7	15 1.6	646 69.5	27 2.9	18 1.9	21 2.3	99 10.6
	知的障害	259 100.0	51 19.7	10 3.9	－ －	－ －	153 59.1	3 1.2	8 3.1	4 1.5	30 11.6
	精神障害	274 100.0	51 18.6	－ －	2 0.7	1 0.4	120 43.8	22 8.0	18 6.6	25 9.1	35 12.8
	無回答	29 100.0	4 13.8	－ －	－ －	1 3.4	17 58.6	1 3.4	1 3.4	1 3.4	4 13.8

（２）利用者負担の負担感

問 38 あなたは障害福祉サービスの利用者負担について、どのように感じていますか。（あてはまるものひとつに○）

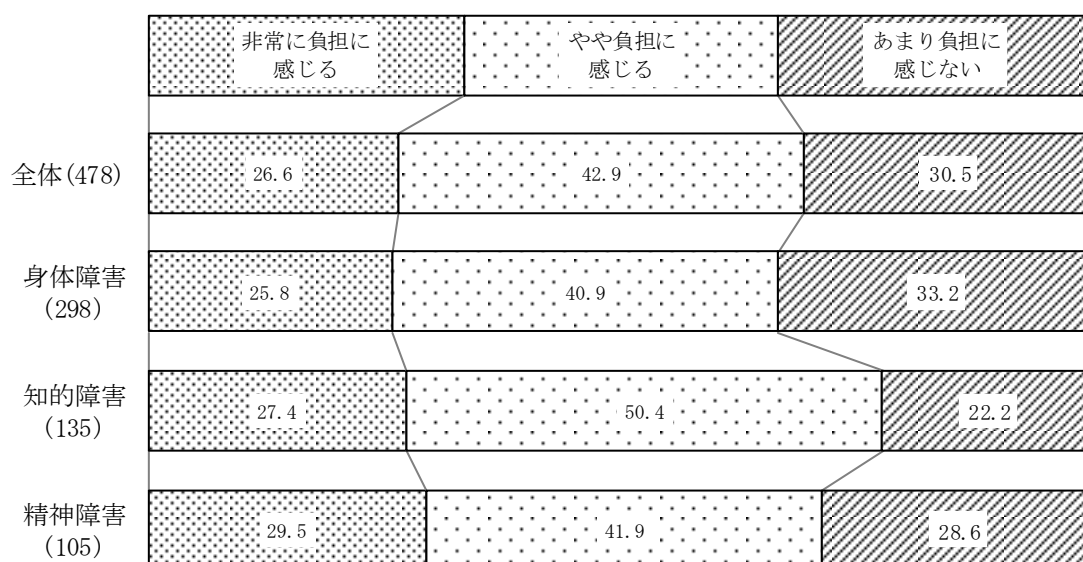
※ この設問では、利用者負担を支払っている方の集計結果のみを掲載しています。

全体では、「非常に負担に感じる」が 26.6%、「やや負担に感じる」が 42.9%、「あまり負担に感じない」が 30.5%となっています。

障害種別ごとに見ると、知的障害のある方で、負担に感じると回答した方の割合がやや多くなっています。

問 38 利用者負担の負担感

単位：%



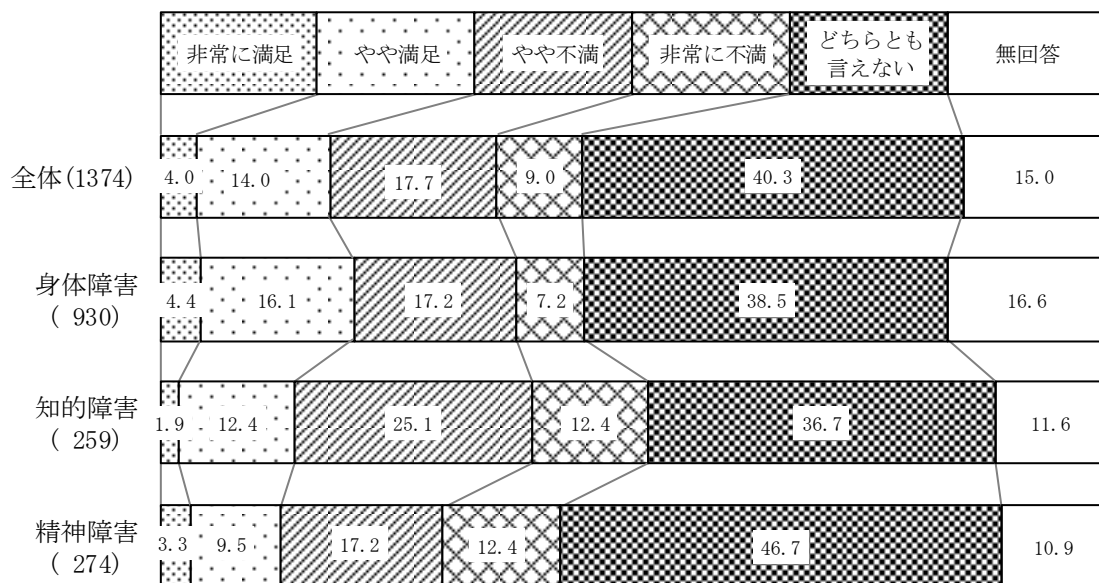
9 市の障害者施策について

問 39 あなたは、市の障害者施策について、どのように感じていますか。（あてはまるものひとつに○）

「非常に満足」が 4.0%、「やや満足」が 14.0%、「やや不満」が 17.7%、「非常に不満」が 9.0%となっています。

問 39 市の障害者施策について

単位：%



10 自由意見

問 40 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

自由意見には、406 件の回答をいただきました。「福祉サービス」に関する意見が 47.8%、「行政・制度」に関する意見が 31.5%、「医療・健康」に関する意見が 18.5%となっています。

障害種別ごとに見ると、知的障害のある方では、「将来について」が、精神障害のある方では、「医療・健康」が、他より多くなっています。

問 40 自由意見

		全体	福祉サービス	医療・健康	生活環境	雇用・労働	将来について	経済事情・経済的支援	行政・制度	その他
障害の種類	全体	406 100.0	194 47.8	75 18.5	39 9.6	26 6.4	64 15.8	67 16.5	128 31.5	68 16.7
	身体障害	266 100.0	132 49.6	41 15.4	30 11.3	8 3.0	31 11.7	41 15.4	76 28.6	44 16.5
	知的障害	87 100.0	48 55.2	15 17.2	4 4.6	10 11.5	29 33.3	17 19.5	25 28.7	14 16.1
	精神障害	85 100.0	37 43.5	27 31.8	7 8.2	9 10.6	14 16.5	16 18.8	30 35.3	9 10.6

※ 複数の分野にわたる回答が多いため、意見数の合計は回答数を上回っています。

◆ 自由意見の概要 ※ 紙幅の関係で、内容を抜粋・要約している場合があります。

① 福祉サービス（194 件）

居宅サービス、日中活動系サービス、短期入所、移動支援などのサービスの拡充に関する意見や、福祉情報の提供に関する意見、福祉タクシー券・自動車燃料券助成に関する意見などがありました。

主な意見の概要	障害の種類	年齢性別
ホームヘルパーの家事支援で、できないことが多すぎる。例えば窓ふきや、高いところの掃除など。	身体障害 (肢体不自由)	60 代 男性 (本人)
社協のホームヘルプサービス撤退に反対します。高齢者は民間事業者が対応してくれるところが結構ありますが、障害者には一覧に出ていても実際にはヘルパーがいない、その方面には行けない、サービスを提供できないというところが多いです。役所も一覧を渡して「自分で探してくれ」というだけでは困ります。（居宅介護に関する意見：9件）	身体障害 (肢体不自由)	50 代 男性 (本人)
以前、福祉事業所に通所しておりました。作業所を利用させていただき、多くのことを学び、自信もつき、一回り成長させていただきました。感謝しておりますが、作業所が少なく、定員一杯だったり、遅かったりで、本人に合うところを捜すのが大変でした。時間など、もう少し利用者に合わせられるところがあればと思います。	知的障害	50 代 女性 (その他)
現在、親が送り迎えをして通所の施設で過ごしておりますが、親が病気の際は、これができず休ませて過ごすことになります。このようなときのサービスはどうして受けられないのでしょうか。送迎の車のある施設等でなければ、親は4、5時間のうちに2往復することになるので、とても不便です。（通所施設に関する意見：5件）	知的障害	50 代 女性 (家族)
緊急のショートステイをさせたいとき、どの施設も空きがなくて対応できないのが困ります。また、契約を交わしていないとショートステイ等もお願いできないのが困ります。福祉の窓口でこういう緊急時の引受先を契約等なしで見つけて探してくれるサービスをお願いします。（短期入所に関する意見：6件）	知的障害	40 代 男性 (家族)
移動支援の事業所を利用していますが、利用を断られることも多いです。ヘルパーさんの待遇改善や、事業所収入の安定等を望みます。一番の悩みは、親の高齢化に伴う、子どもの将来への不安です。グループホーム、ケアホーム、ホームヘルプなど、子ども自身の希望にあった生活ができるようなサービスをお願いします。（移動支援に関する意見：10件）	知的障害	20 代 女性 (家族)

自分の障害で、どのようなサービスが受けられるのか、情報がないのでわからない。自動車燃料券という単語は、今回初めて聞きました。私が利用可能なサービスの明確な資料をもらいたいです。	身体障害 (肢体不自由)	30代 男性 (本人)
障害と介護、両方ある上での利用サービスがわかりにくい。もう少し利用サービスがわかりやすいパンフレット一覧など、日常的に使えるものが知りたい。(福祉情報の提供に関する意見：21件)	身体障害 (無回答)	60代 男性 (家族)
福祉タクシー券の追加を通院以外にも認めて欲しい。通院とショートステイの送迎で、支給分は使い切ってしまう。タクシー券があればもっと外出する機会が増え、元気も出てくる。自費で支払うと、経済的な負担が大きく、外出を控えざるを得ない。(福祉タクシー券に関する意見：17件)	身体障害 (視覚障害) 精神障害	60代 男性 (家族)
自動車燃料費の助成を利用していますが、今はガソリンスタンドのセルフが多く、給油できるところが少なくなって困っています。今後、セルフでも利用できるように対応してほしい。(自動車燃料費助成に関する意見：16件)	身体障害 (肢体不自由・ 内部機能障害)	50代 女性 (本人)
通学・通勤定期の福祉サービスがあると嬉しいです。長距離の運賃割引より日常生活の交通費の割引サービスがあったらうれしいです。(公共交通費の助成に関する意見：18件)	身体障害 (肢体不自由)	20代 男性 (本人)

② 医療・健康(75件)

医療費助成の所得制限に関する意見や、窓口での支払免除に関する意見などがありました。

主な意見の概要	障害の種類	年齢性別
障害者の医療費助成が家族の収入制限により打ち切られました。大きな負担です。収入制限は本人に限定するか、以前同様なくすべきです。	知的障害	10代 女性 (家族)
医療費助成を受けていますが、医療機関に一度30%の医療費を支払い、後で行政に申請して戻ってくるという形です。ほとんどの県・市では助成分の支払いをしないですみますが、千葉県(市)ではその体制が取れないのでしょうか。せめて、申請しなくても戻ってくる形にしたいと思います。(医療費助成に関する意見：21件)	身体障害 (内部機能障害)	60代 女性 (本人)
福祉サービスを受ける際、医療機関のカルテの提出を求められることがあるが、このカルテの記載行為に費用が発生する。これを自己負担とするのは矛盾を感じる。	身体障害 (視覚障害)	40代 男性 (本人)

要介護度や障害者の等級認定が、がん患者に対して正しく評価されていないように思います。がんは難病に指定されていません。脳梗塞の後遺症では、障害は認定されやすいですが、がんの後遺症については認められにくいと思いました。良い薬が開発され、存命期間が長くなっています。せっかく長くなった生命を、良い生活ができるように配慮してください。	身体障害 (肢体不自由)	70代 女性 (本人)
病院への敷居が高く、もっと気軽にクリニックに行けるような雰囲気にしてほしい。潜在的な精神疾患者は、非常に多いはずだから。薬物治療に頼るのではなく、例えば、東洋医学や各種セラピーなど、連携で改善すると良いと思う。	精神障害	30代 男性 (本人)

③ 生活環境 (39件)

道路や建物等のバリアフリー化に関する意見や、災害時の対応に関する意見などがありました。

主な意見の概要	障害の種類	年齢性別
現在、健常者と同等に働いていますが、道路や建物のバリアフリー化が進んでいないので、通院等には大変なエネルギーを必要とします。現在は若いので、何とかがんばっていますが、将来障害が進んだり、健康状態が悪くなったときはとても不安です。今一番希望することは、まちや駅のバリアフリー化です。そうすれば障害者はもっと外に出て、いろいろな活動が可能になると思います。	身体障害 (肢体不自由)	30代 男性 (本人)
弱視者の立場から、点字ブロックの色使いについて一言。交差点横断歩道の点字ブロックの色が、歩行者の色に合わせ、白・グレーになっている。弱視者は点字ブロックを白杖で確認する以外に、色（黄色が分かりやすい）でも認めているので、これは大変見づらくて困る。美観も大切だが、人命第一に考えていただきたい。	身体障害 (視覚障害)	60代 男性 (本人)
歩道を歩いていると、自転車と何度もぶつかります。自転車は皆逃げてしまいます。せめて学校の長期休暇の前には、小中学生には交通安全教育を行ってください。車の横断のために歩道をえぐり取るような工事をしたところがありますが、けがをする恐れがあるのでやめてください。歩道が広がっているところは、車が車庫代わりに使っていて、よくぶつかります。(道路・建物等のバリアフリー化に関する意見：16件)	身体障害 (視覚障害)	50代 男性 (本人)

築 25 年になるマンションに住んでおりますが、住民も高齢化してきているようです。主人も 7 年前から難病になり、寝たきりの状態で入退院の繰り返しです。緊急時の対応に常に不安を感じ、マンション管理者に申し出ておりますが、災害の時介助していただけるか心配です。	身体障害 (肢体不自由)	70 代 男性 (家族)
災害時に避難所で健常者と同じように過ごすことは難しい。嚥下障害があれば嚥下食が必要になり、肢体不自由であれば、2 時間ごとの体位交換、排泄（おむつ交換）にも広いスペースがいる。終始、雑音、臭いなどで周囲に迷惑がかかるのも心苦しい。災害時にけがや病状がなくても、一時的に病院、もしくは介護施設で受け入れてもらえるような措置をとってもらえたら心強い。（災害時の対応に関する意見：3 件）	身体障害 (肢体不自由・ 音声・言語・ そしゃく機能障害)	60 代 女性 (家族)

④ 雇用・労働（26 件）

給与・工賃に関する意見や、職場の障害理解に関する意見などがありました。

主な意見の概要	障害の種類	年齢性別
作業所の工賃をもう少しあげてください。（給与・工賃に関する意見：6 件）	知的障害	30 代 男性 (本人)
生活のために働かなくてはいいませんが、職場はあまり障害者に対しての理解がなく、健常者と同じ仕事をしなければならず、結果として年間で何回か休職せざるを得ない現状です。（職場の障害理解に関する意見：5 件）	身体障害 (肢体不自由)	40 代 男性 (本人)
重度の知的障害があっても、一般の事業所、会社で緩やかな働き方ができるようにしてほしい。そのような会社を社会的に評価するようにしてほしい。障害者のための職場ではなく（1 か所に集められるのではなく）、一人二人と雇う民間の会社や事業所を増やしていく施策を望む。	知的障害	10 代 男性 (家族)
ハローワークなどで、パソコンで障害者の求人を簡単に見られるようにしてほしい。ハローワーク以外でも求人が見られるフリーペーパーがあってもよいと思う。フルタイムの仕事があってもパート、アルバイトなどの仕事が、障害者の場合少ないので、企業に働きかけてほしい。	精神障害	30 代 男性 (本人)
障害はありますが健常者と全く同じ仕事をしています。障害者として採用されていますので、会社は補助金をもらって給料を払っていても、本人は普通に仕事をしているのに何もサービスを受けることはありません。会社だけが得をしている感じがします。	身体障害 (内部機能障害)	40 代 男性 (本人)

一般枠と違い、障害者雇用で従事しているので収入の格差を感じる。何らかの手当を新設してほしい。収入が高い方を一般枠で雇用している事業所に対して、税負担を高額にするなど、公平性のあるものにしてほしい。障害者雇用で実績ある事業所を紹介するなどしてほしい。	身体障害 (肢体不自由)	30代 女性 (本人)
現在ワークホームへ通所していますが、体力を使うことがほとんどなく、体が太る一方で、健康上のことや洋服のサイズで困っている。本人の特性を活かして、接客業やスーパーの裏方の仕事など、人と交わる中で体を動かす仕事に従事して、現在の不安、心配を解決したいと思っています。できればそのような情報がほしいです。	知的障害 精神障害	60代 男性 (家族)
一般企業に就労している人達のコミュニケーションの場や、気軽に相談できる場が、就労生活を続けていくために必要だと思います。	知的障害	20代 男性 (家族)

⑤ 将来について (64件)

親亡き後への保護者の不安に関する意見や、グループホーム・入所施設の整備に関する意見などがありました。

主な意見の概要	障害の種類	年齢性別
すべて親がかりになっており、親が動けなくなったり、情報処理能力や判断力が弱くなったときが不安です。地域で安心して暮らせる社会は福祉関係者や当事者のみでなく、いろいろな人のサポートが必要です。ネットワークづくりや本人に代わってコーディネートしてくれる人たちの育成も大切だと思います。(親亡き後への保護者の不安に関する意見：16件)	身体障害 (肢体不自由) 知的障害	20代 男性 (家族)
私の子どもは44歳で働いています。人の嫌がる汚い仕事で、手を真っ黒にしてよく働いています。私が死んだ後が心配で、60歳を過ぎたらグループホームに入所させたいと考えています。希望すれば入所がすぐにできるのか、今はそのことが心配です。(グループホームの整備に関する意見：10件)	知的障害	40代 男性 (家族)
グループホームに入所させることが良いのか、施設に入所させることが良いのか、迷っているうちにお互いに年を取ってしまいました。本当なら、自宅に近い場所に、作業もできて、ときどき泊まれて、家にも戻れるような場所があればうれしいと思いますが、それは夢のまた夢の話です。(入所施設の整備に関する意見：10件)	知的障害	20代 男性 (家族)
障害の進行、退職、高齢化などを考えると、これからの経済的・精神的・身体的負担が大きく、不安を感じています。また、私を介護する親族の負担を考えると、申し訳なく感じます。	身体障害 (内部機能障害)	50代 男性 (本人)

自分は精神的な心の病のため、体調が不安定で、なかなか仕事に就くことができなかった。何度も職安に行き、やっとアルバイトを見つけ、少しだけ仕事をしています。ずっと続けられるか自分にもわかりません。親は年金暮らし、自分は親がいなくなったときどうしたらいいか、一番の悩みです。自分一人になっても安心して生活できるような、不安のない福祉をお願いします。	精神障害	40代男性 (本人)
息子は発達障害（LD、ADHD等）を持っており、将来自立した生活を送るのは困難です。自立訓練や就労訓練を受けたくても、中途半端な位置にあり、受け入れてくれるところも非常に少ないと感じます。親として息子の将来に不安が一杯です。もっと、発達障害を持つ人達に対する支援を含め、受け入れてくれる就労先等の拡充、生きていくための支援、福祉サービスを考慮していただきたいと思います。	精神障害	20代男性 (家族)
成年後見制度があるが、利用するためには費用が高すぎる。無料で福祉課などで担当する仕事ではないのかと思う。	知的障害	30代男性 (家族)

⑥ 経済事情・経済的支援（67件）

福祉手当など経済的支援に関する意見などがありました。

主な意見の概要	障害の種類	年齢性別
福祉手当が削減されていくので困ります。年金手当も年々減っているので生活が苦しいです。生活保護費はどのようにして決めるのですか。私の年金よりも月額が多いです。年金を取り消して生活保護のほうが良いのではないのですか。	身体障害 (内部機能障害)	50代女性 (本人)
年金ではとても生活できず、障害の身で老人ホームの給食係として働いて若干の収入を得ていますが、医療費にも事欠く状況です。障害の等級、年齢など条件をつけずに、一時的に生活支援金のような形で長期貸付金制度などを考えてくださると助かります。	身体障害 (内部機能障害)	70代男性 (本人)
経済的な支援が不足しているのでそちらの充実に期待しています。特に精神障害で軽いと判断されているうつなどは、就職後の定着が難しく、無事に就職できてもまた退職せざるを得ない状態になります。経済的な不安からまた症状が重くなるということもありますので、行政からの支援があれば安心して治療に専念できると思いますので、どうかよろしくお願いします。	精神障害	30代男性 (本人)

医療費の助成や市の手当が、なくなってしまいました。収入が多いという理由だけでは、納得できません。下にまだ学生の子どもがいて、経済的にはまだまだ大変な状況の中、助成が打ち切られるというのはとても大変です。世帯分離すれば助成が受けられるというのはおかしいと思います。（経済的支援に関する意見：18件）	身体障害 (肢体不自由) 知的障害	20代 女性 (家族)
--	-------------------------	-------------------

⑦ 行政・制度（128件）

手続きの簡素化に関する意見や、市職員の対応に関する意見などがありました。

主な意見の概要	障害の種類	年齢性別
手続きが多く、高齢化した親には記入もわかりづらく、負担になります。書類面の仕事ばかりでなく、一人一人のケアのための相談にのっていただけ、専門家としての仕事を主としていただける体制にしてほしい。（手続きの簡素化に関する意見：14件）	知的障害	30代 女性 (家族)
認定されたばかりで、福祉サービス全体のことはよくわかりませんが、やはり公務員のお役所仕事、縦割りの感じがしました。もっと横断的で障害者の立場に立って企画を立て、政策を実施していただきたいと存じます。（市職員の対応に関する意見：10件）	身体障害 (音声・言語・ そしゃく機能障害)	60代 男性 (本人)
サービスは大きくて多い方が良いですが、財政的に困難であれば応分の負担はします。長期的に継続できる方策を第一に考えて取り組んで下さい。どこも苦しいのは承知しています。	知的障害	20代 女性 (家族)
障害者自立支援法廃止は歓迎ですが、新法がどのようなものになるのか不安です。少しでも何かそのことに関して情報が入ったら、お知らせいただきたいと思います。	身体障害 (肢体不自由)	50代 男性 (本人)
障害福祉サービスの中で、身体障害者と知的障害者だけ利用できて精神障害者は利用できないものがある。障害の種類で差別しないでほしい。	精神障害	60代 女性 (本人)
障害者福祉に関する話し合いや決めごとなど、障害者不在で決められていませんか。もっと本当の私たちの声を聞いてほしいです。	身体障害 (肢体不自由)	20代 男性 (本人)

⑧ その他（68件）

地域での見守りに関する意見や、障害者の社会参加に関する意見などがありました。

主な意見の概要	障害の種類	年齢性別
最も恐れていることは、孤独死することだと思います。孤独死を防ぐには、見まわりをすれば防げるかなと思います。見まわりのシステムを公の機関でつくってほしいと思います。一人で死ぬのは、考えられないほど寂しく悲しくつらいことだと思うのです。	精神障害	50代女性 (本人)
地域の民生委員等ともう少し密接な関係を持てたら、いざというときに心強いのではないのかと思います。（地域での見守りに関する意見：6件）	精神障害	30代男性 (家族)
幼いときから分けられずに育ち、学ぶ環境をつくるのが、働く仲間として一緒に社会で生きていく会社を作る基となると思うので、統合教育を実現してほしい。障害者のための施設はもうつくらず、地域に戻してほしい。特別支援学校はやめにして、地域の学校で学べるようにしてほしい。	知的障害	10代男性 (家族)
障害者が積極的に地域活動等に参加できる環境を、さらに整えていただければありがたいと思います。	知的障害	30代男性 (本人)
障害福祉の情報や規則が変わったこと、その他一般に知りたい情報を個別に連絡してほしい。パソコンなどがないため、ホームページが見られない。	身体障害 (肢体不自由)	50代男性 (本人)
観劇、映画等の割引料金をもう少し下げただけであれば幸いです。映画、テレビ放送の場合字幕放送を多くしてもらいたい。屋外での広報の場合、できればチラシ等も活用してくだされば助かります。	身体障害 (聴覚・平衡機能障害)	70代男性 (本人)
介助者の集まりなど、気楽に話し合える場所などがあれば良いと思っています。	身体障害 (肢体不自由)	90代女性 (家族)